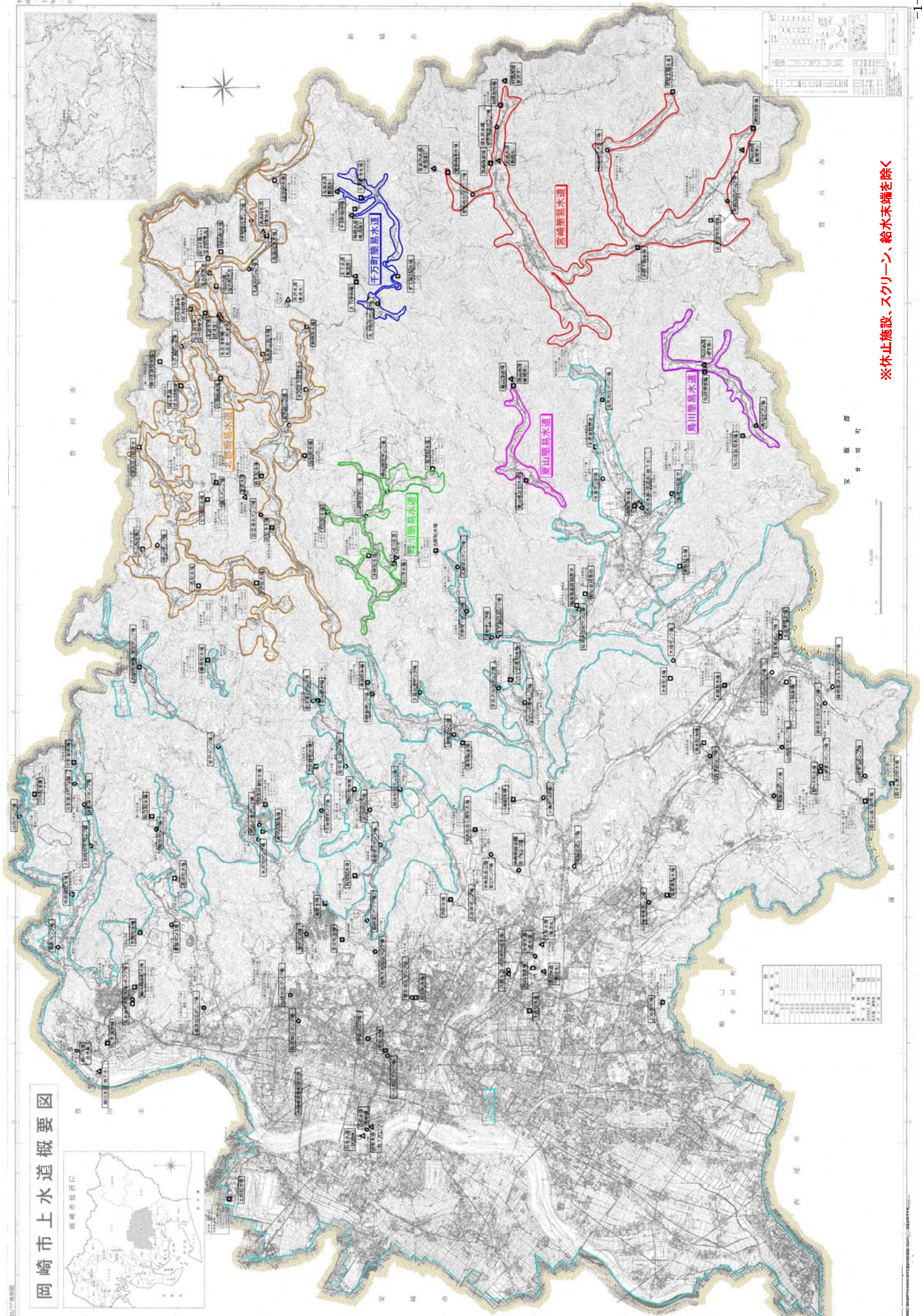


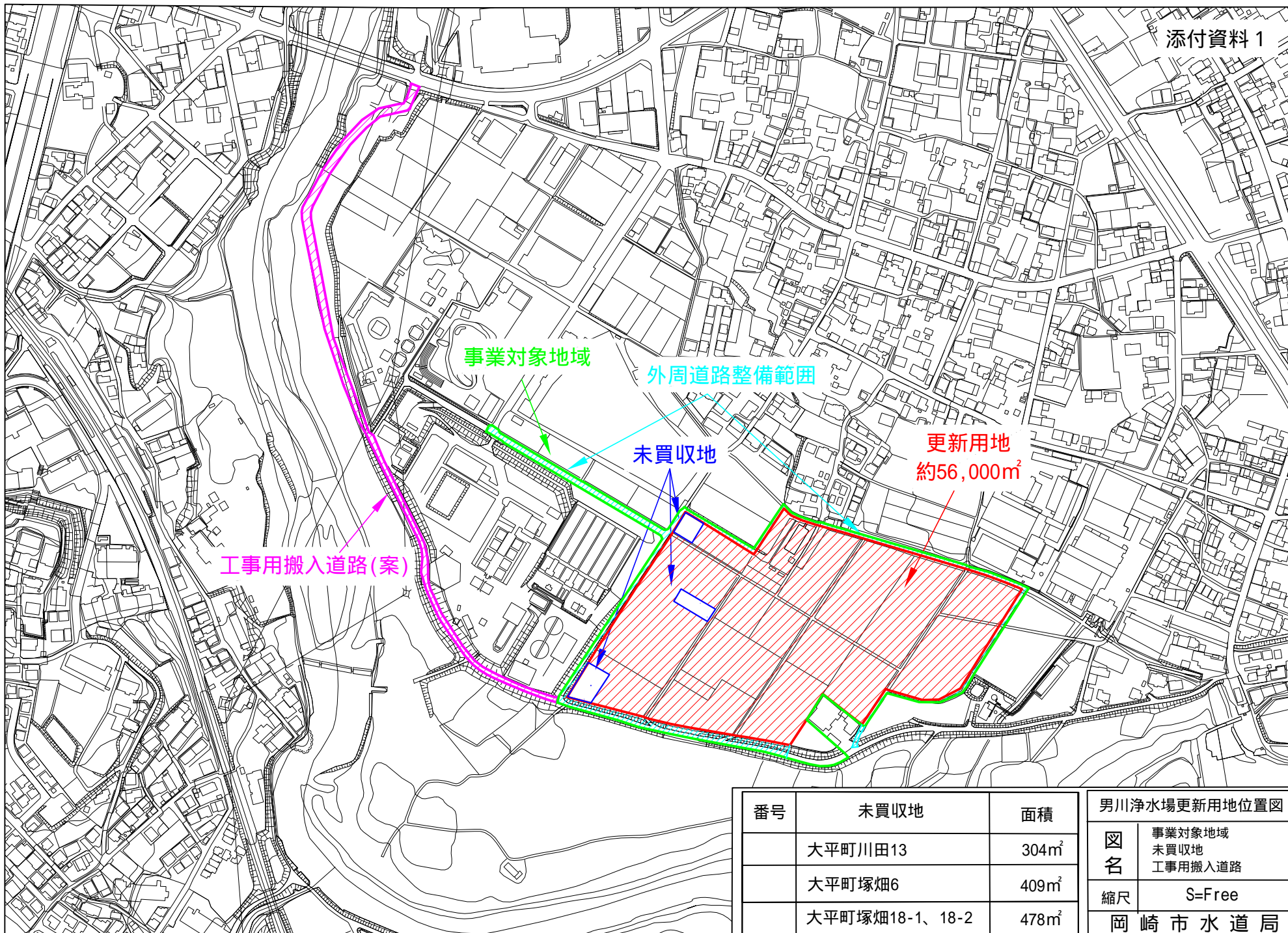
添付資料一覧

- 1 添付資料 1 : 施設位置図、男川更新用地位置図
- 2 添付資料 2 : 施設フロー図
- 3 添付資料 3 : 配置平面図案及び水位高低
- 4 添付資料 4 : 地質調査結果、ボーリング柱状図
- 5 添付資料 5 : 新設男川浄水場負荷案集計表
- 6 添付資料 6 : 取水場位置図
- 7 添付資料 7 : 管理棟平面図案
- 8 添付資料 8 : 必要諸室の仕様及び備品
- 9 添付資料 9 : 過去 5 年間の水質データ (原水)
- 10 添付資料 10 : 場外施設等の点検頻度と点検内容
- 11 添付資料 11 : 計装監視対象施設一覧
- 12 添付資料 12 : 男川浄水場廻り既設導水・送水・配水管ルート図
- 13 添付資料 13 : 男川浄水場廻り既設污水配管ルート図

岡崎市上水道概要図

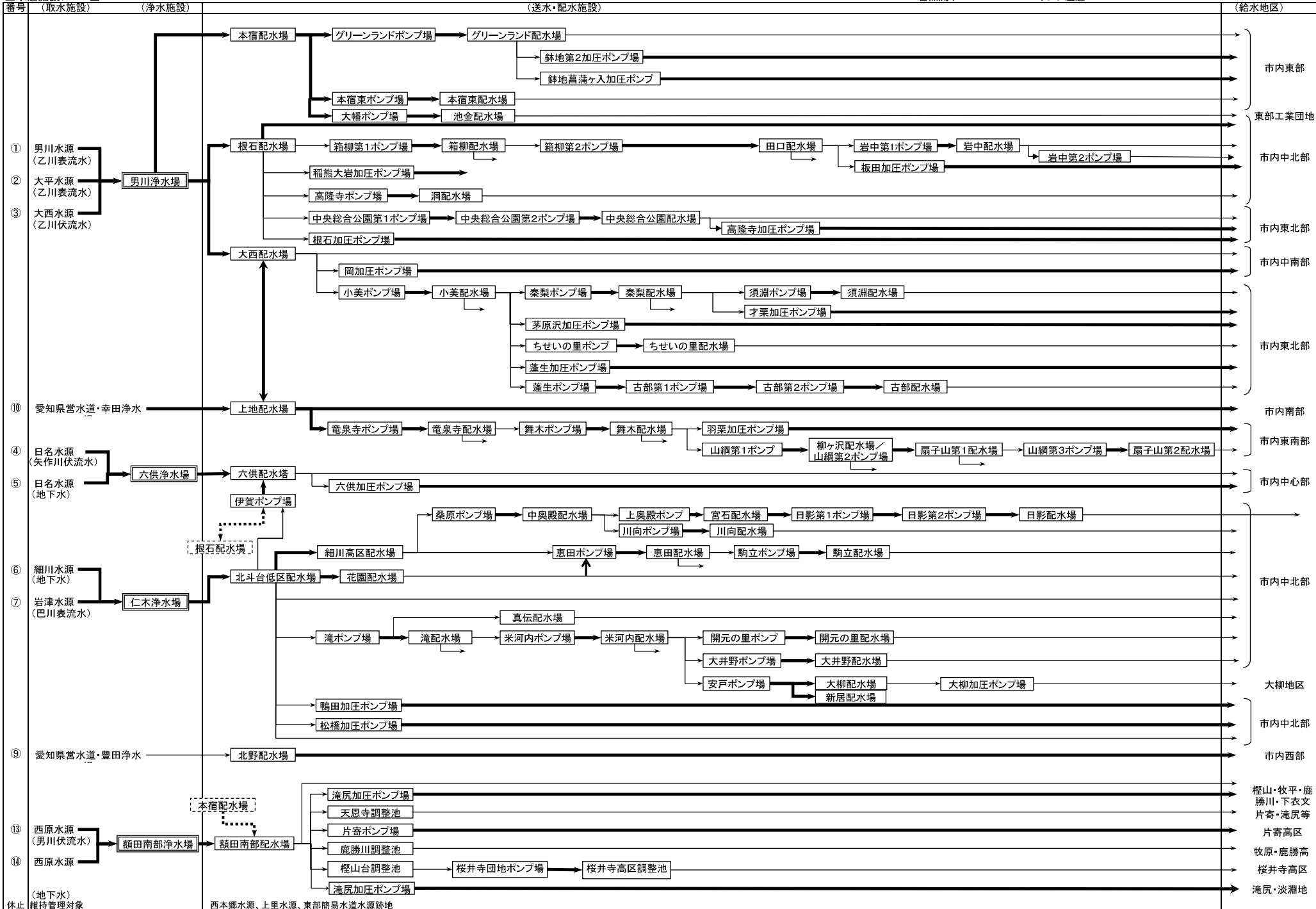


※休止施設、スクリーン、給水末端を除く



番号	未買収地	面積	男川浄水場更新用地位置図	
	大平町川田13	304㎡	図名	事業対象地域
	大平町塚畑6	409㎡		未買収地
	大平町塚畑18-1、18-2	478㎡		工事用搬入道路
			縮尺	S=Free
			岡崎市水道局	

上水道施設フロー図

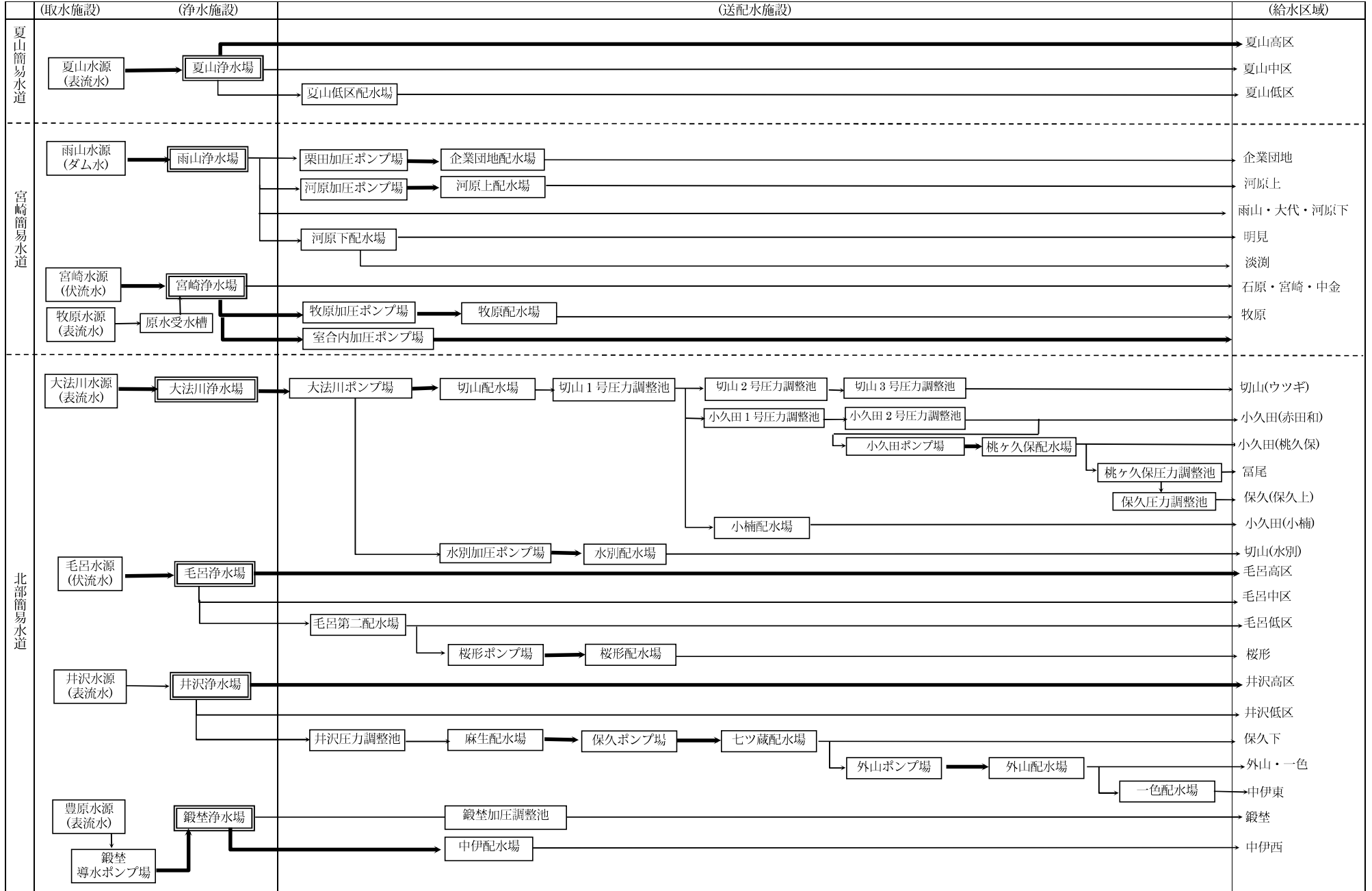


(地下水) 休止 維持管理対象

西本郷水源、上里水源、東部簡易水道水源跡地

簡易水道施設フロー図（その1）

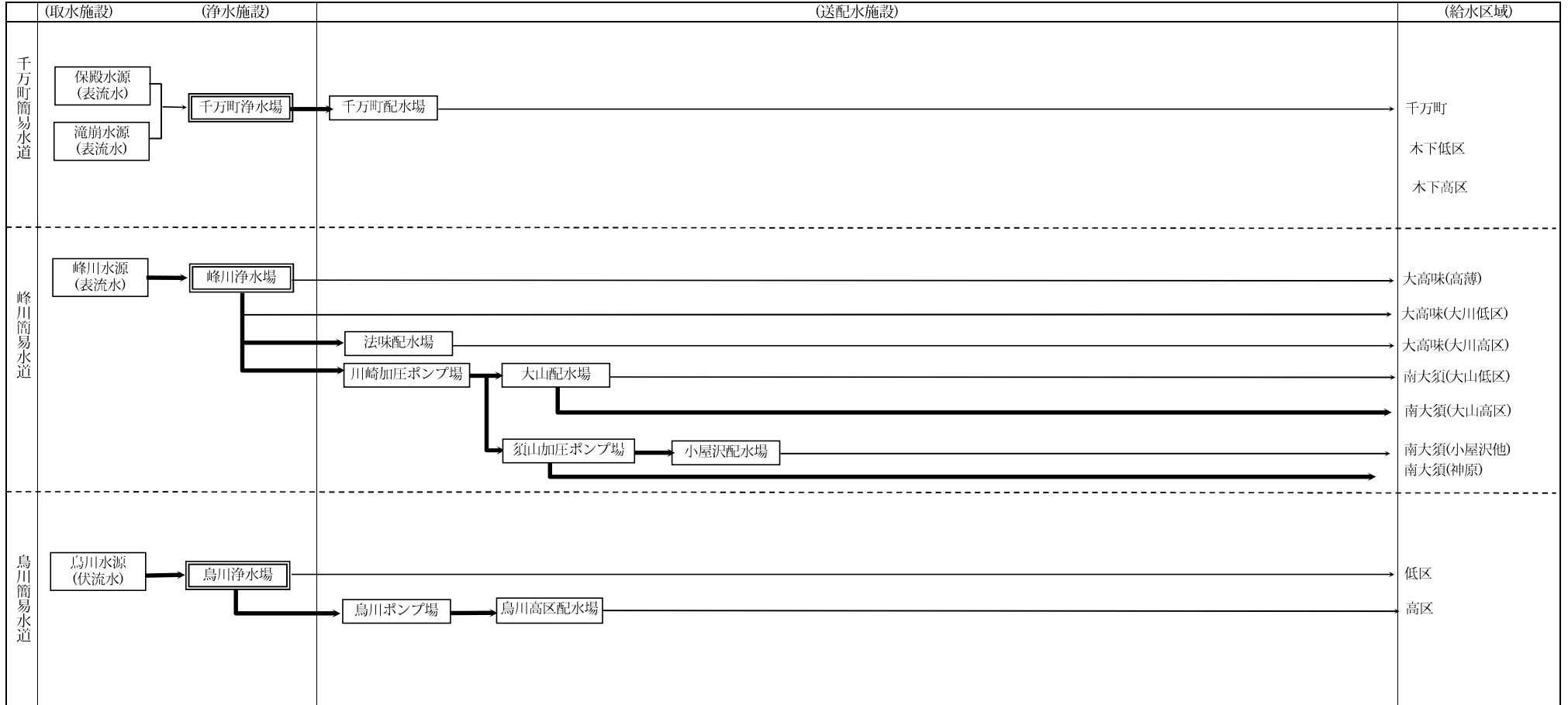
→ 自然流下 → ポンプ圧送



休止 明見配水場、室内内浄水場、保久浄水場

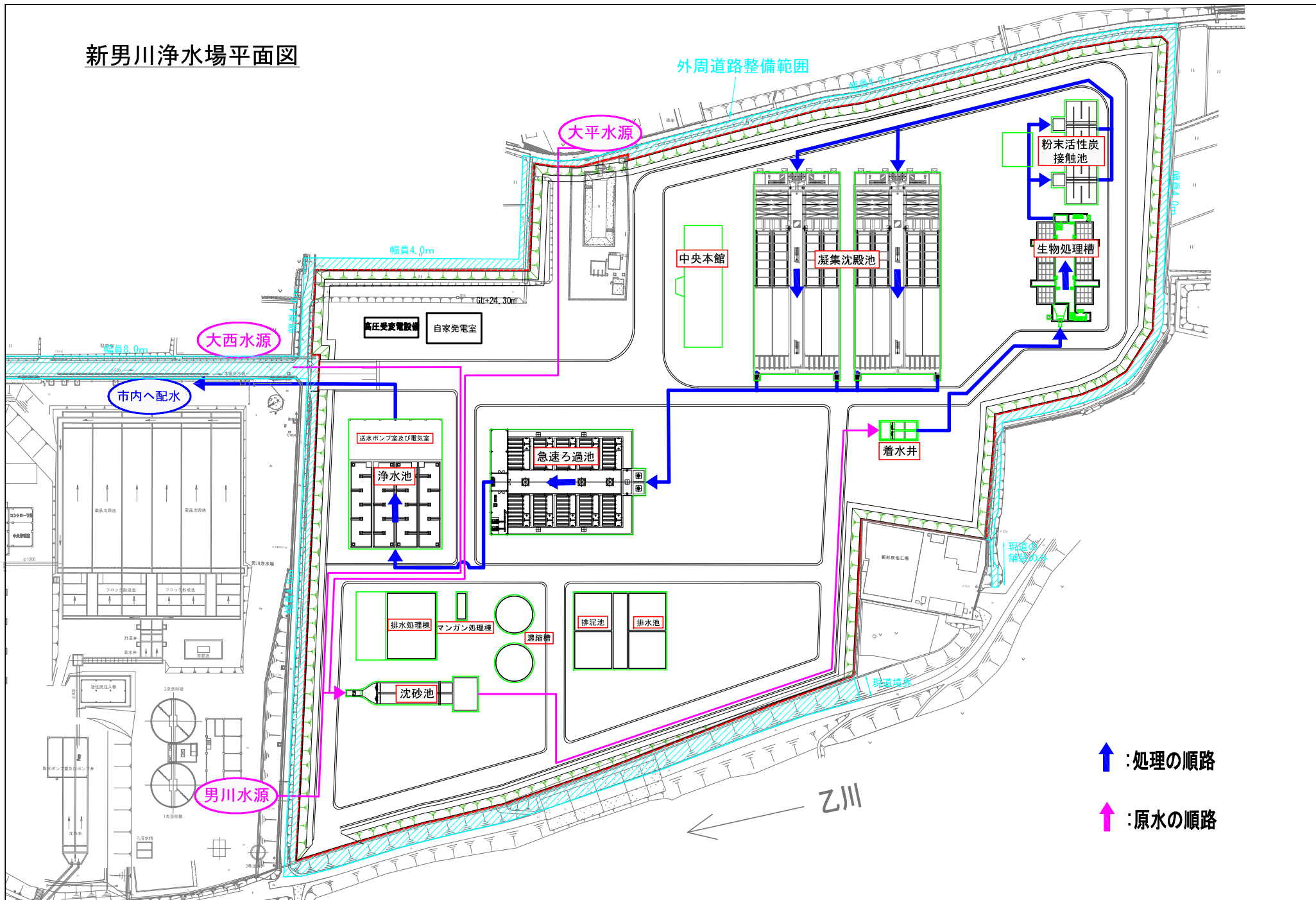
簡易水道施設フロー図（その2）

→ 自然流下 → ポンプ圧送



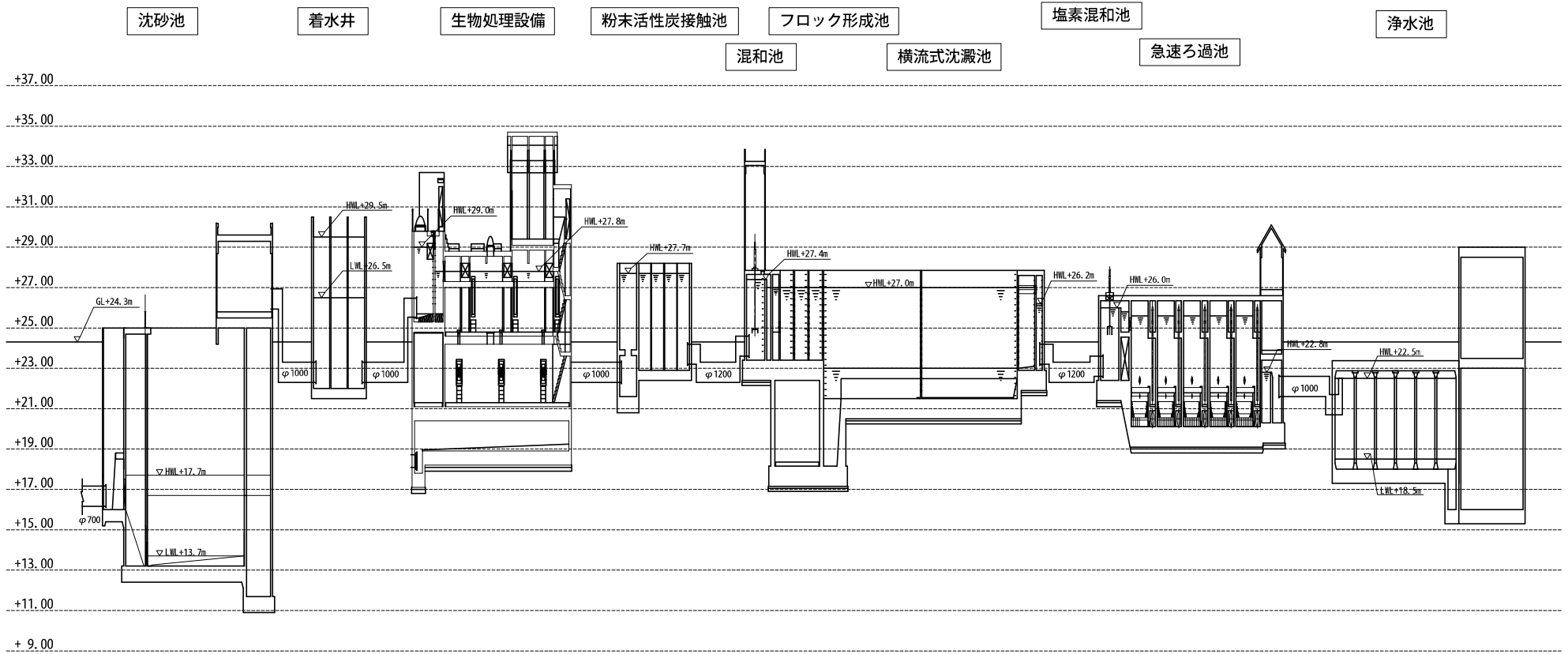
休止 木下第2配水場、木下加圧ポンプ場、木下配水場

新男川浄水場平面図



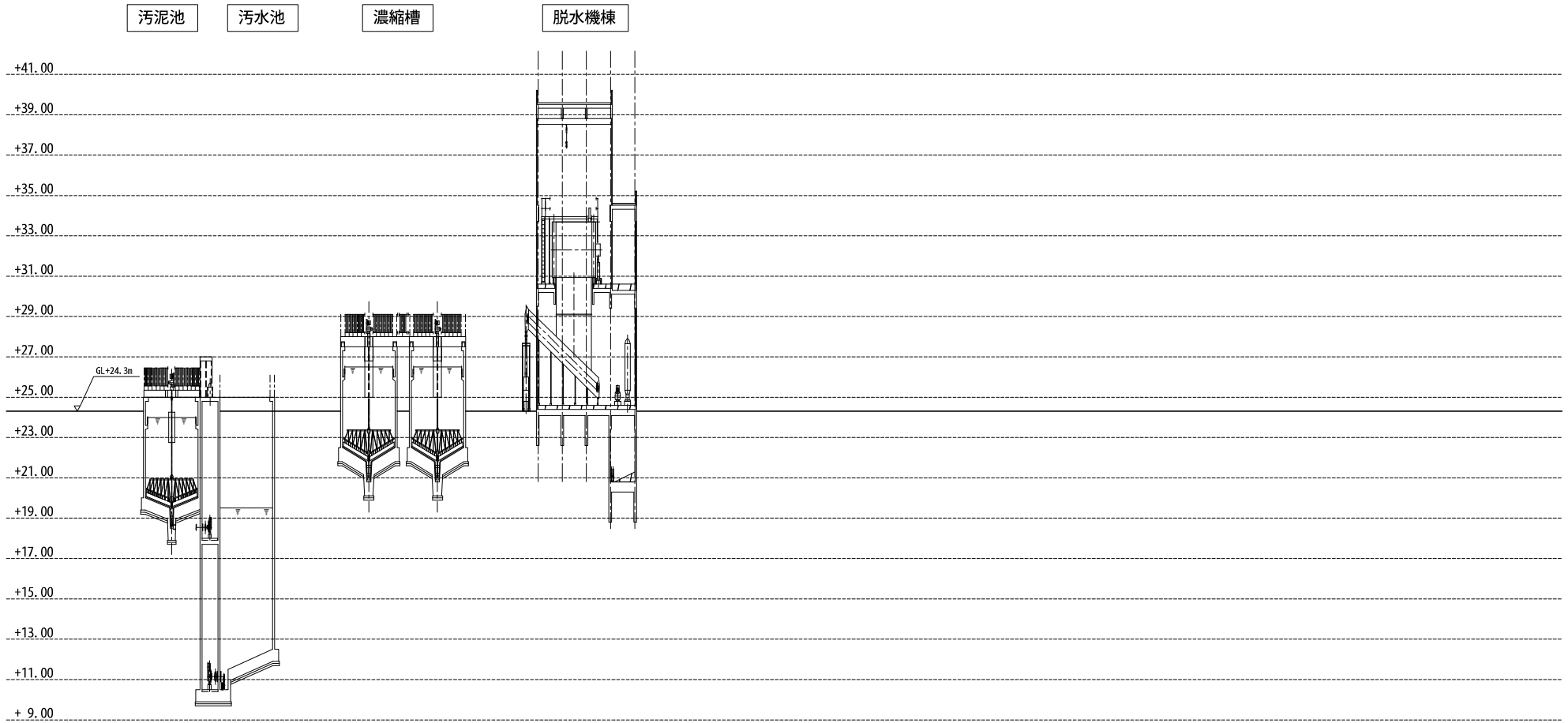
↑ : 処理の順路
 ↑ : 原水の順路

水位高低図 V=1:100
H=1:500



男川浄水場更新工事			
図名	水位高低図		
起工番号	縮尺	V=1/100 H=1/500	
図面番号	製図年月日		
岡崎市水道局			

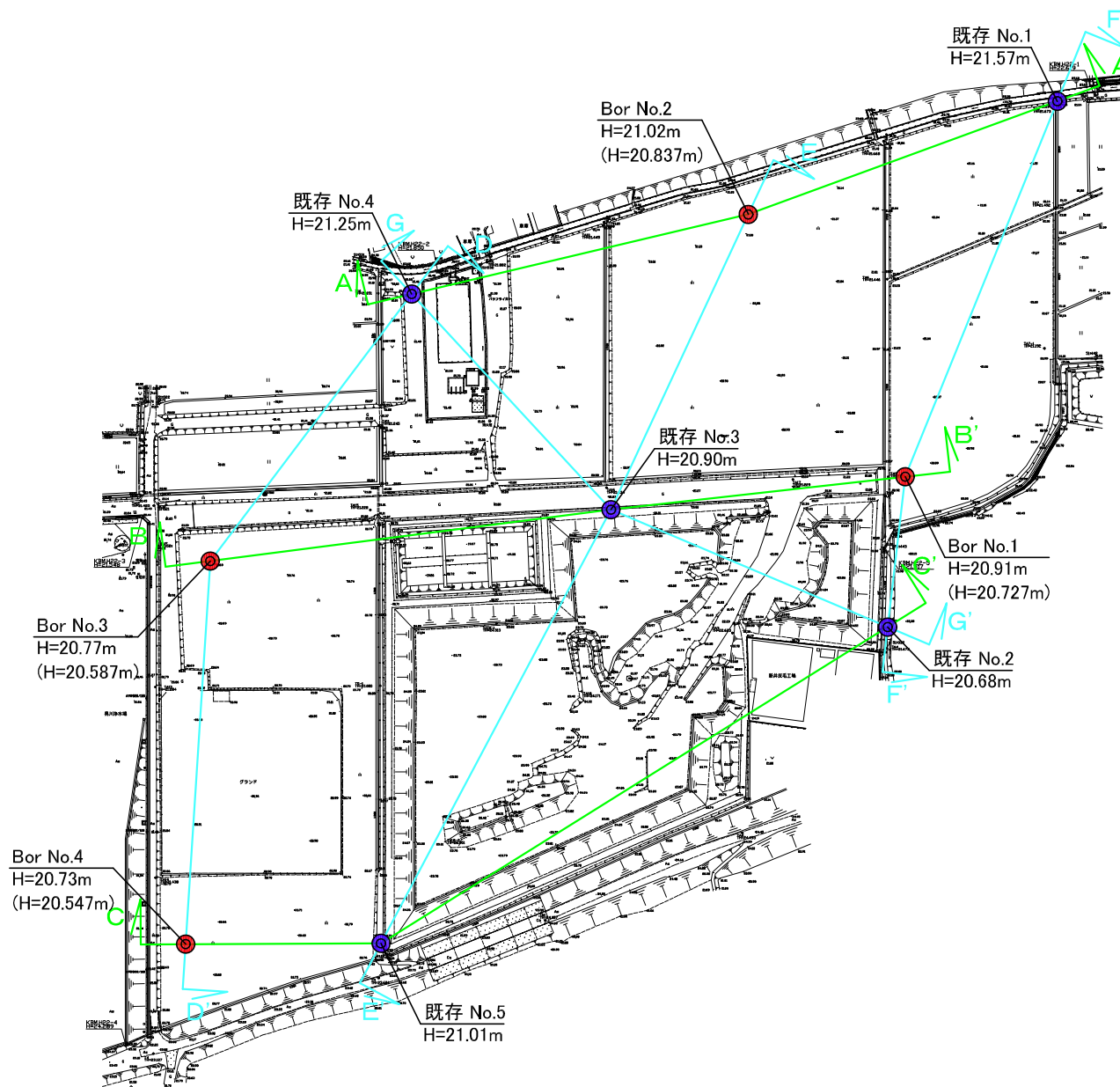
水位高低図 V=1:100
H=1:500



男川浄水場更新工事			
図名	水位高低図		
起工番号	縮尺	V=1/100	H=1/500
図面番号	製図年月日		
岡崎市水道局			

断面線図

Scale: 1/1,500



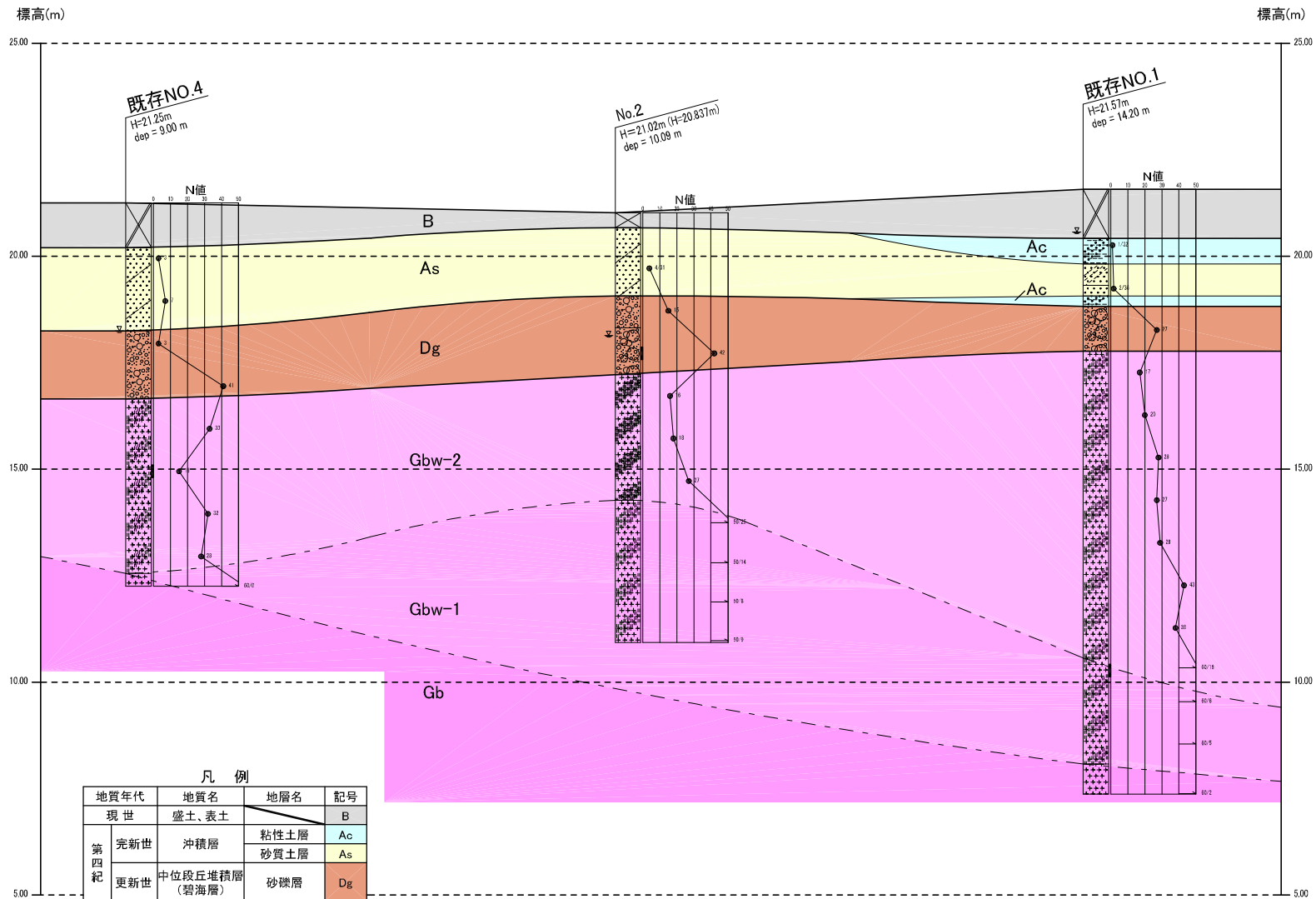
- 凡 例
- : 今回ボーリング位置
 - : 既存ボーリング位置
 - : 断面線

※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

地質推定断面図

Scale: H=1/1,000, V=1/100

A-A'断面



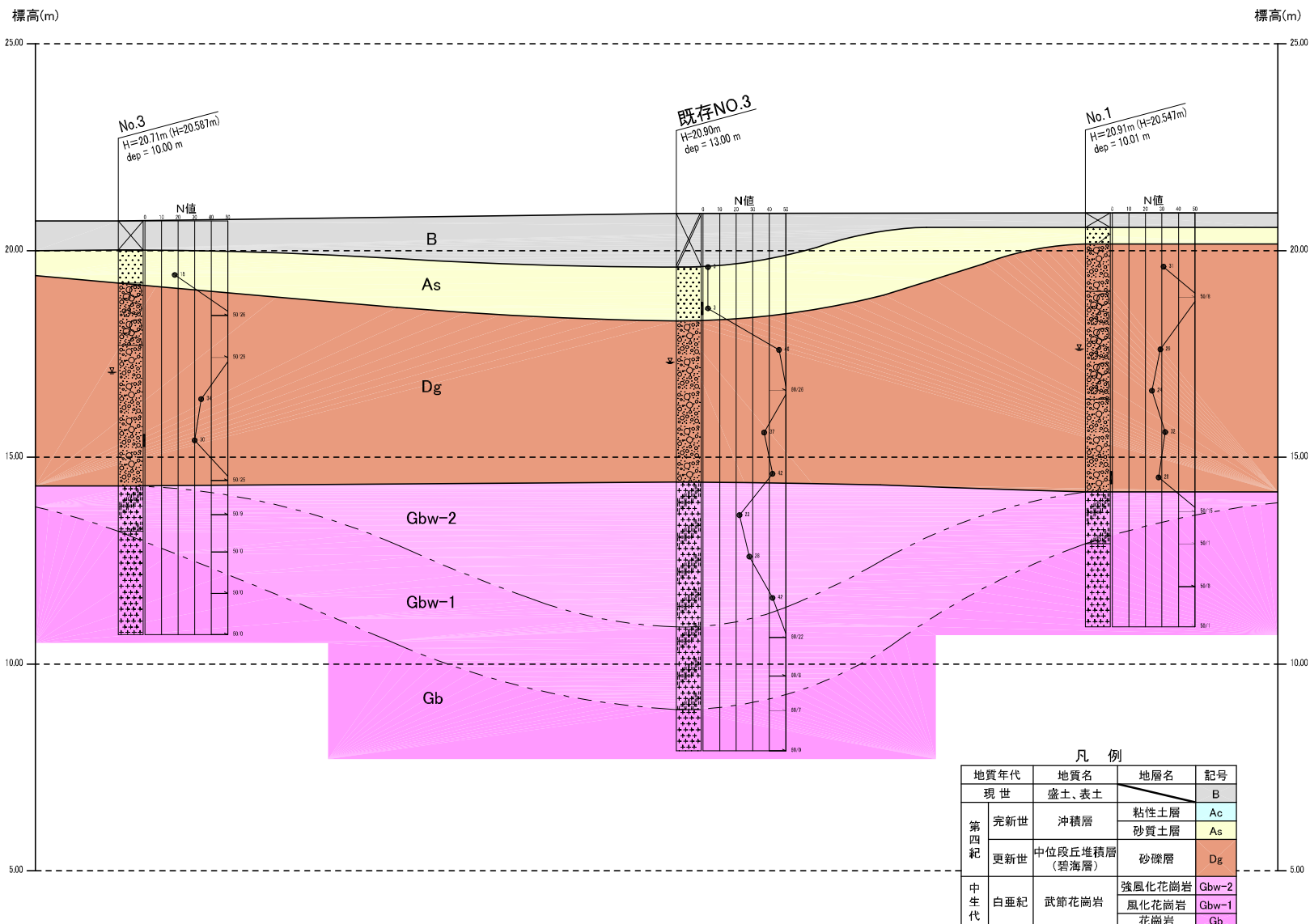
※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale: H=1/1,000, V=1/100

B-B'断面



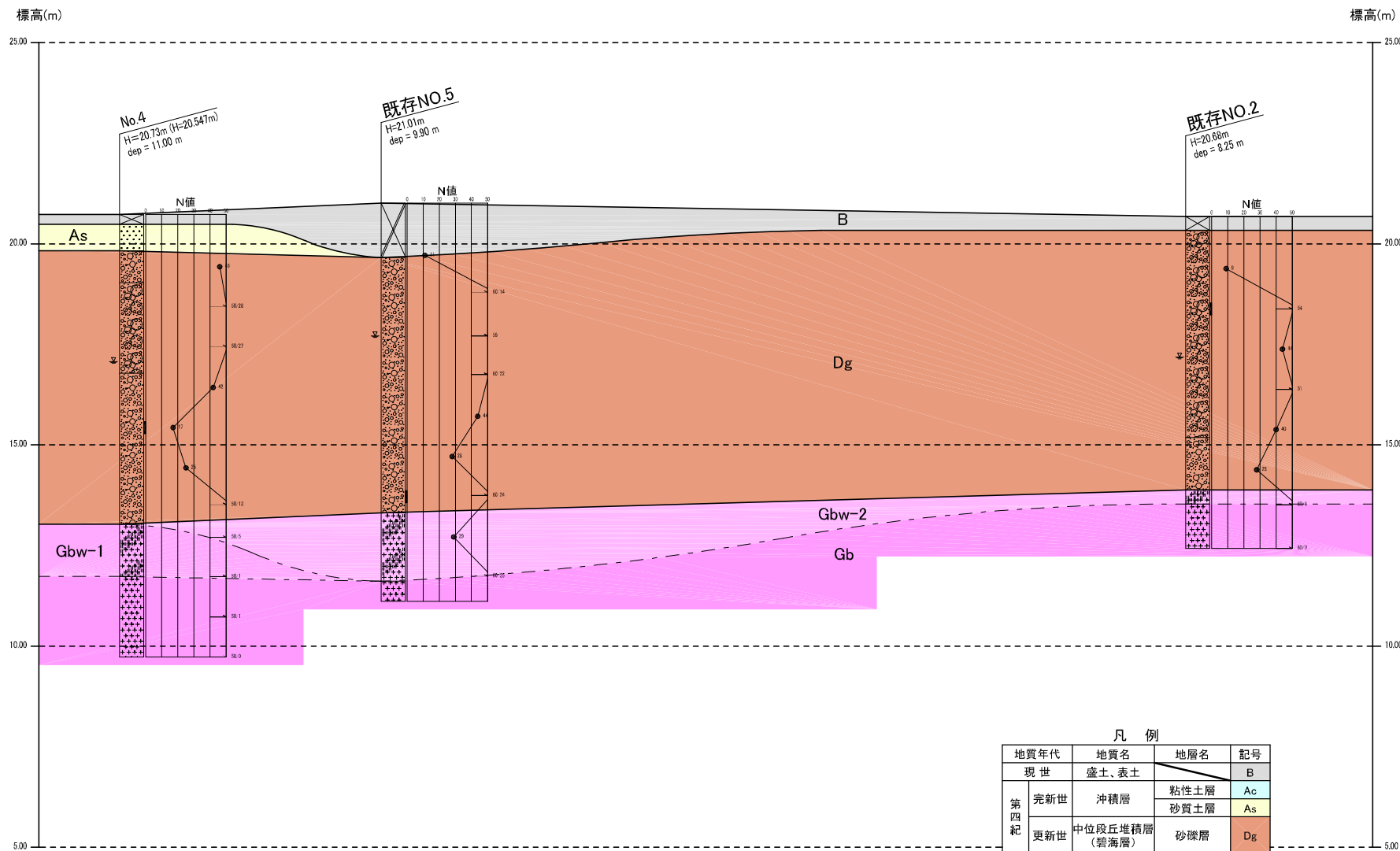
※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale: H=1/1,000, V=1/100

C-C'断面



凡 例

地質年代	地質名	地層名	記号
現世	盛土、表土		B
第四紀	完新世	粘性土層	Ac
		砂質土層	As
	更新世	中位段丘堆積層 (碧海層)	砂礫層
中生代	白亜紀	強風化花崗岩	Gbw-2
		風化花崗岩	Gbw-1
		花崗岩	Gb

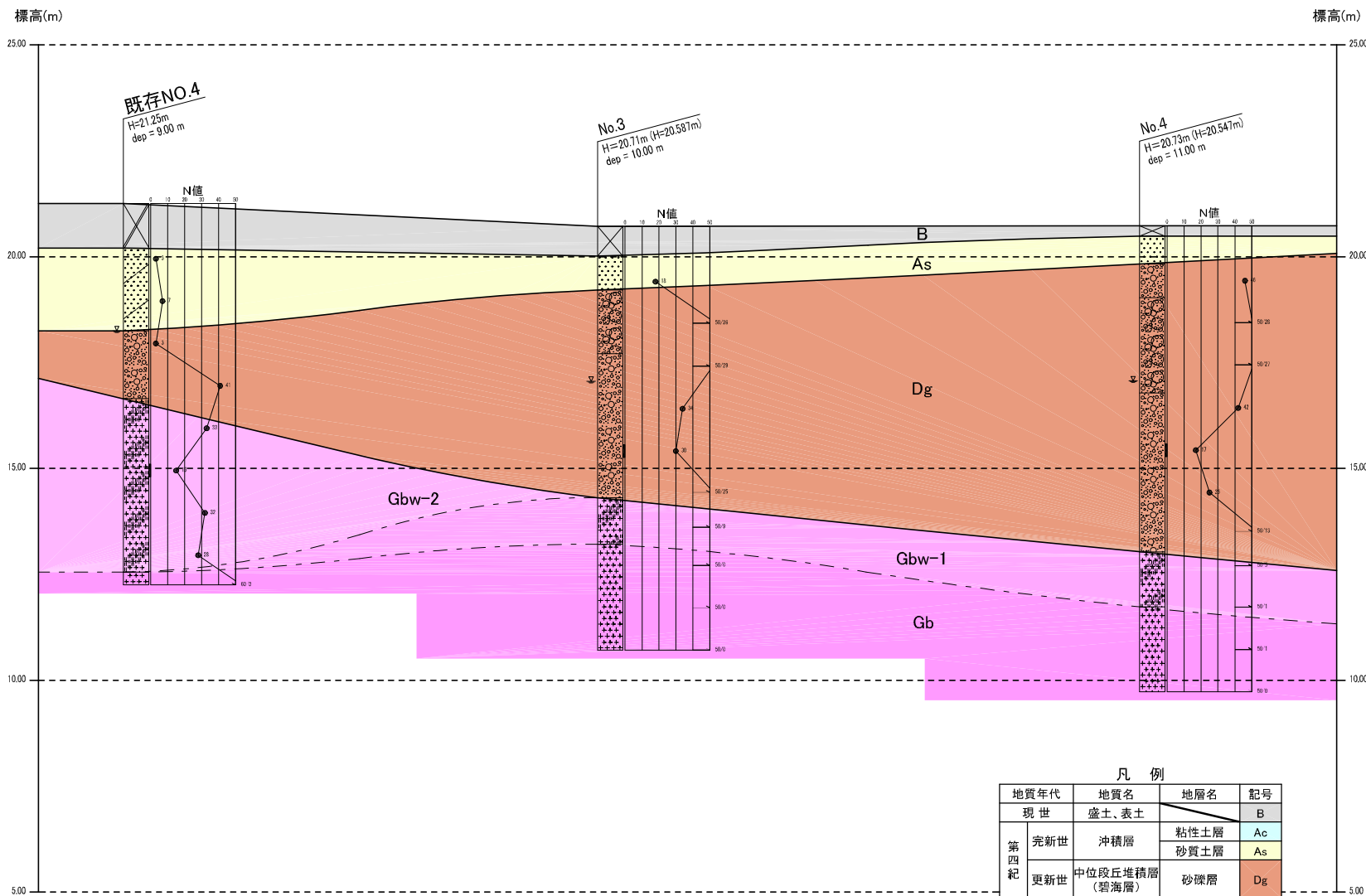
※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale: H=1/1,000, V=1/100

D-D'断面



凡例

地質年代	地質名	地層名	記号
現世	盛土、表土		B
第四紀	完新世	粘性土層	Ac
		砂質土層	As
	更新世	中段丘陵堆積層 (碧海層)	砂礫層
中生代	白亜紀	強風化花崗岩	Gbw-2
		風化花崗岩	Gbw-1
		花崗岩	Gb

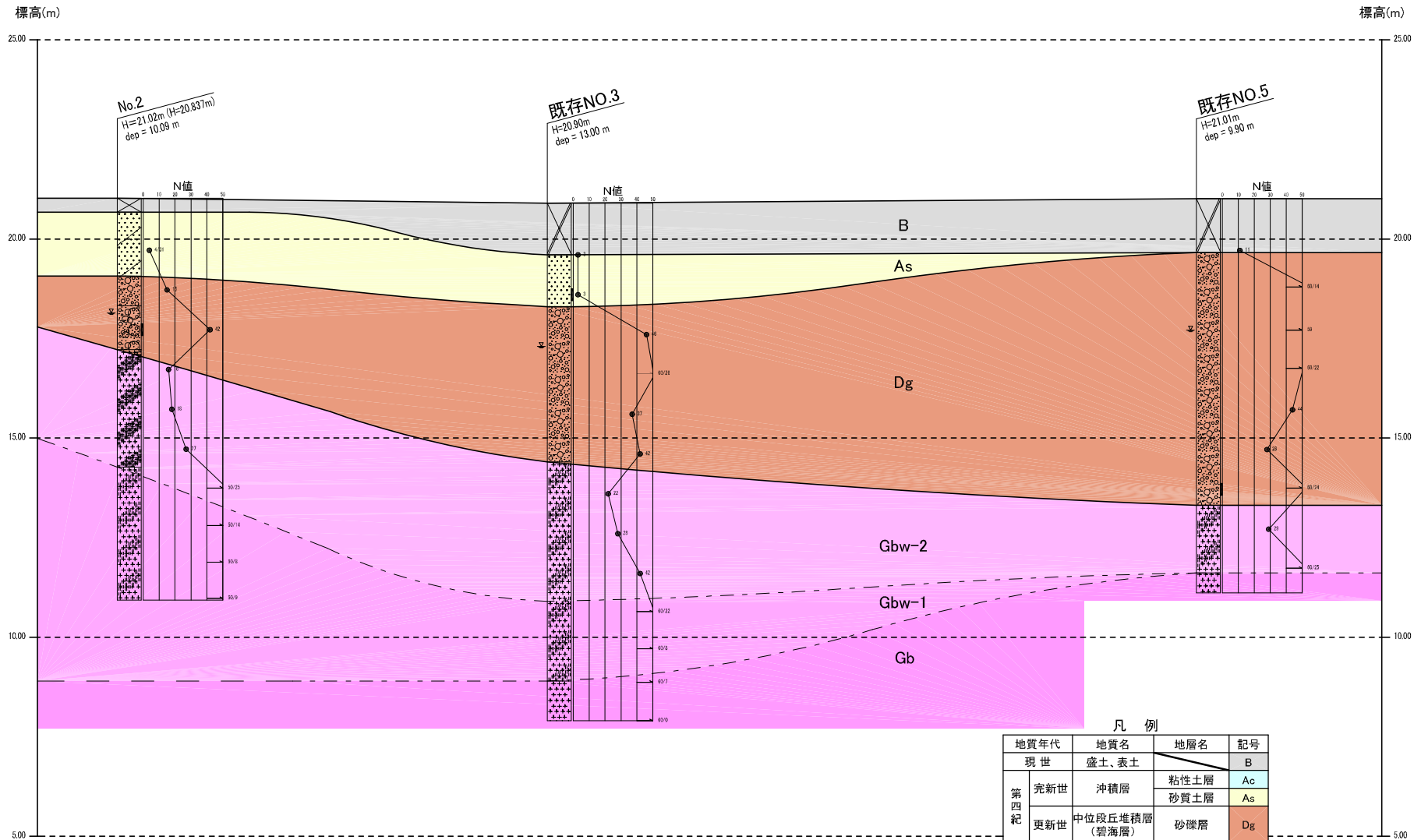
※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale: H=1/1,000, V=1/100

E-E'断面



凡 例

地質年代	地質名	地層名	記号
現世	盛土、表土		B
第四紀	完新世	粘性土層	Ac
		砂質土層	As
	更新世	中位段丘堆積層 (碧海層)	砂礫層
中生代	白亜紀	強風化花崗岩	Gbw-2
		風化花崗岩	Gbw-1
		花崗岩	Gb

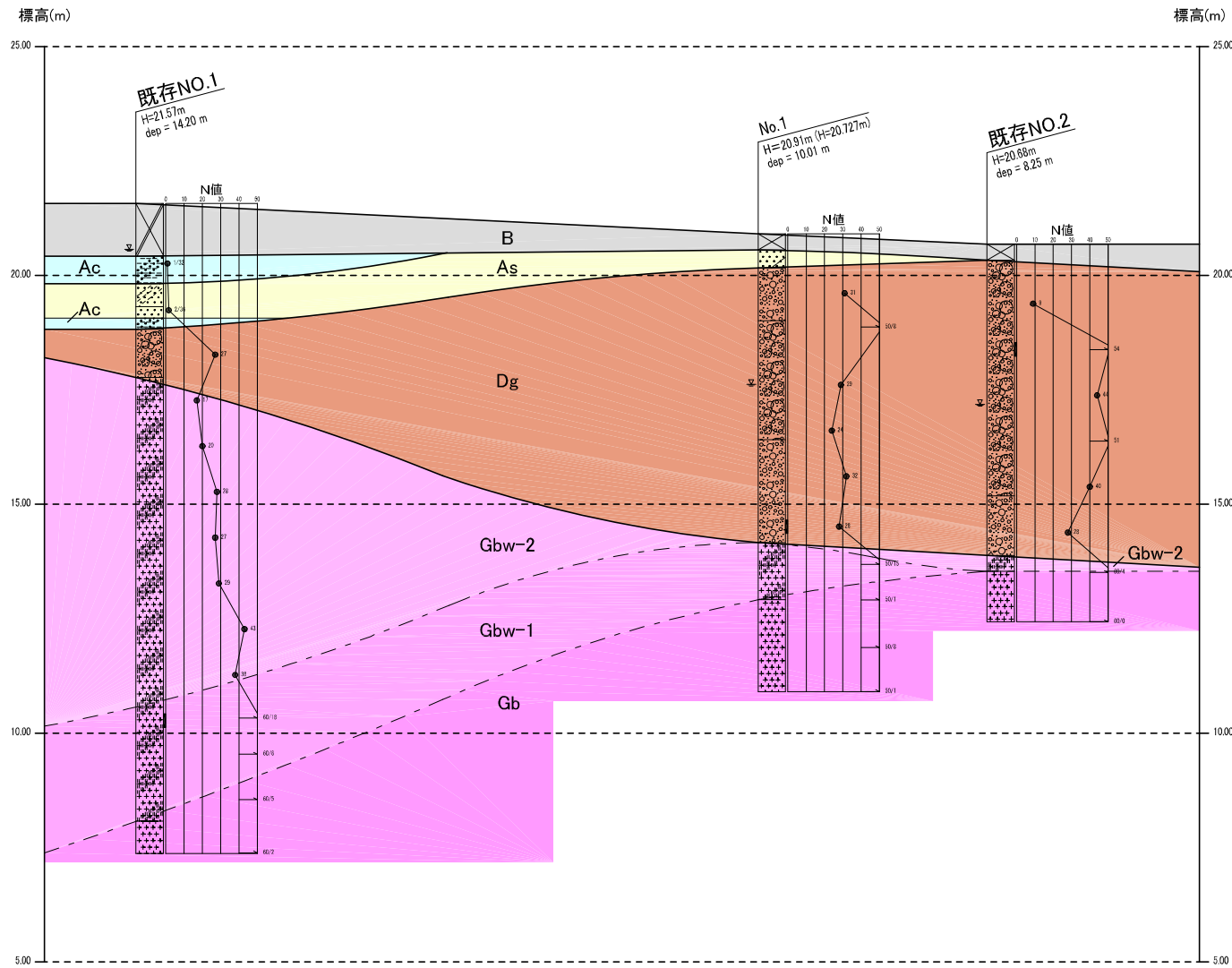
※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale: H=1/1,000, V=1/100

F-F'断面



凡例

地質年代	地質名	地層名	記号
現世	盛土、表土		B
第四紀	完新世	沖積層	粘性土層 Ac
			砂質土層 As
	更新世	中位段丘堆積層 (碧海層)	砂礫層 Dg
中生代	白亜紀	武節花崗岩	強風化花崗岩 Gbw-2
			風化花崗岩 Gbw-1
			花崗岩 Gb

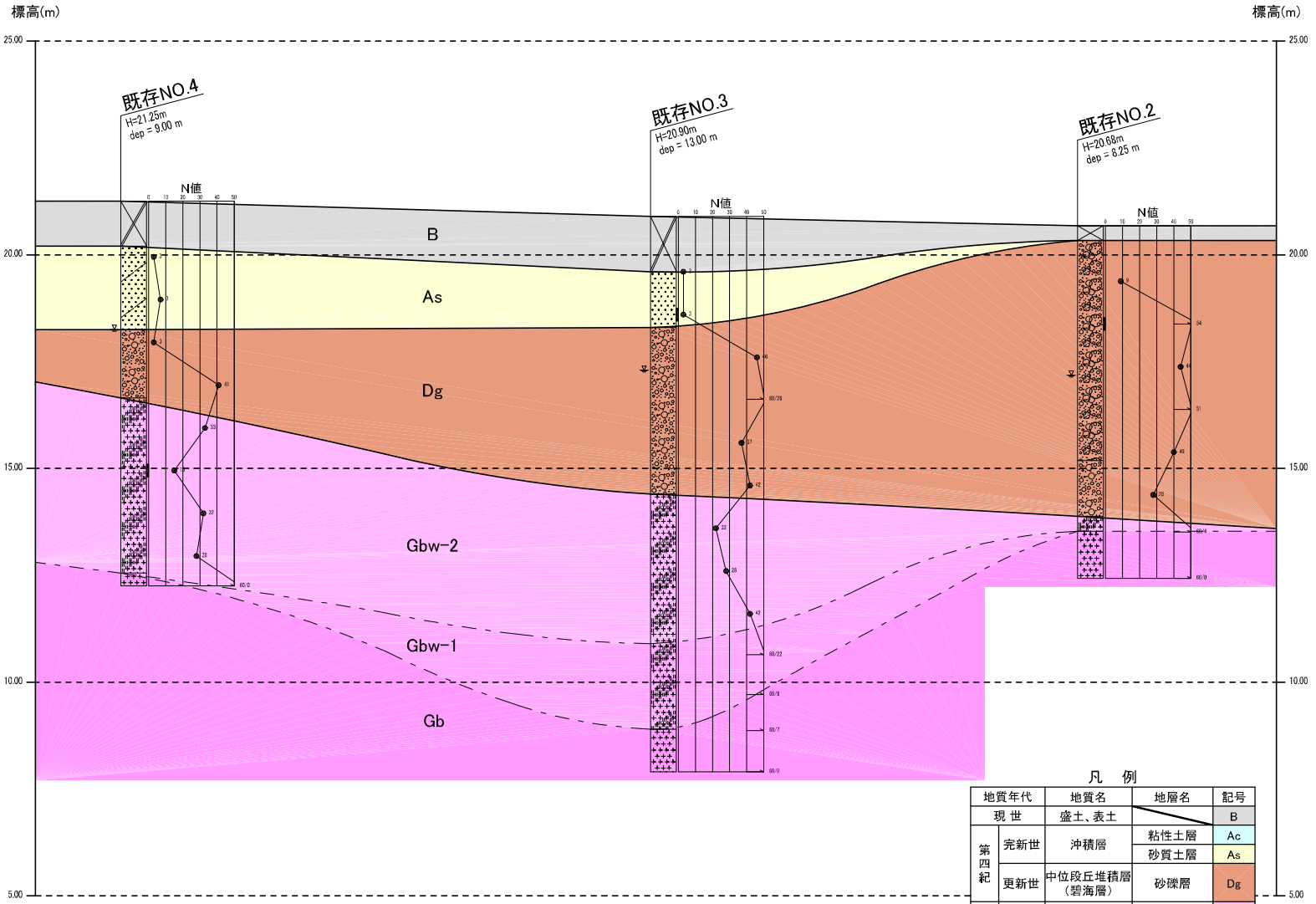
※()内数値は、既存浄水場内のKBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

地質推定断面図

Scale: H=1/1,000, V=1/100

G-G'断面



凡例

地質年代	地質名	地層名	記号
現世	盛土、表土		B
第四紀	完新世	粘性土層	Ac
		砂質土層	As
	更新世	中位段丘堆積層 (碧海層)	砂礫層
中生代	白亜紀	強風化花崗岩	Gbw-2
		風化花崗岩	Gbw-1
		花崗岩	Gb

ボーリング箇所以外の想定断面はあくまでも想定であるため、実際の断面と異なる場合でも原則事業費変更の対象としない。

ボーリング柱状図

調査名 男川浄水場更新基本設計業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	No. 1		調査位置	岡崎市大平町地内		調査期間	平成 22年 10月 20日 ~ 22年 10月 22日		北緯	34° 56' 6.1"	
発注機関	岡崎市水道局		調査期間	平成 22年 10月 20日 ~ 22年 10月 22日		東経	137° 11' 30"		ボーリング緯	34° 56' 6.1"	
調査業者名	[Redacted]		代理人	[Redacted]		ボーリング責任者	[Redacted]		ボーリング経	137° 11' 30"	
孔口標高	H=20.91m (H=20.727m)		現場	YBM-05		ハンマー落下用尺	半自動落下装置		ボーリング深	137° 11' 30"	
総掘進長	10.01m		エンジン	ヤンマーNF D-9		ボンプ	G P-5		ボーリングG P	137° 11' 30"	
	角 180° 上 90° 下 0°		地盤勾配	水平0°							
	方 北 0° 東 90° 西 180°		使用機種	エンジン							

標尺	層高	厚度	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	相対密度	記	孔内水位 (m) / 測定月日		標準貫入試験		原位置試験	試験結果	試験深 (m)	試験番号	採取方法	室内試験 ()	掘進月日	
									深	度	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)								
1	20.55	0.35	0.35	粘土 (暗色)	暗色	中位		奥井土 (砂質シルト) よりなる粘性土塊 - 中砂主体	10.20	10.20	8	10	13	31					10.20	10.20
2	20.18	0.46	0.75	砂	灰	中位		奥井土 (砂質シルト) よりなる粘性土塊 - 中砂主体	10.20	10.20	9	11	11	29					10.20	10.20
3	19.01	1.15	1.90	砂	灰	中位		奥井土 (砂質シルト) よりなる粘性土塊 - 中砂主体	10.20	10.20	8	10	11	24					10.20	10.20
4	18.41	2.60	4.50	玉石混り砂	灰	中位		奥井土 (砂質シルト) よりなる粘性土塊 - 中砂主体	10.20	10.20	9	11	11	22					10.20	10.20
5				砂	灰	中位		奥井土 (砂質シルト) よりなる粘性土塊 - 中砂主体	10.20	10.20	8	10	11	24					10.20	10.20
6	14.16	2.25	6.75	砂	灰	中位		奥井土 (砂質シルト) よりなる粘性土塊 - 中砂主体	10.20	10.20	8	10	11	22					10.20	10.20
7				風化花崗岩	暗色	中位		奥井土 (砂質シルト) よりなる粘性土塊 - 中砂主体	10.20	10.20	8	10	11	22					10.20	10.20
8	12.91	1.25	8.00	花崗岩	暗色	中位		奥井土 (砂質シルト) よりなる粘性土塊 - 中砂主体	10.20	10.20	8	10	11	22					10.20	10.20
9				炭灰	暗色	中位		奥井土 (砂質シルト) よりなる粘性土塊 - 中砂主体	10.20	10.20	8	10	11	22					10.20	10.20
10	10.96	2.01	10.01					奥井土 (砂質シルト) よりなる粘性土塊 - 中砂主体	10.20	10.20	8	10	11	22					10.20	10.20

※ () 内数値は、既存浄水場内のRBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング柱状図

調査名 男川浄水場更新基本設計業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	No. 3	調査位置	岡崎市大平町地内		シートNo.															
発注機関	岡崎市水道局		調査期間	平成 22年 10月 27日 ~ 22年 10月 28日	北緯	34° 56' 9.4"	東経	137° 11' 21.5"	ボーリング責任者											
調査業者名	[Redacted]		現代理人	[Redacted]	コ定者	[Redacted]	ボーリング責任者	[Redacted]												
孔口標高	H=28.77m (B=20.559m)	主任技師	試験機	YBM-05	ハンマー	落下用尺	半自動落下装置													
総掘進長	10.00m	角	180° 上	210° 西	地盤勾配	水平0°	エンジン	ヤンマーNF D-9	ポンプ	カノV-6										

標尺	層高	厚度	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対密着度	記	孔内水位(m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験名	試験結果	深さ	試験採取番号	室内試験方法	掘進日
										深	打撃回数	10cmごとの打撃回数	貫入量						
1	20.01	0.70	0.70	表土	暗灰	中位	横断土(砂質シルト)よりなる 凝結土(砂質シルト)よりなる 各次取れない	11.5	6	5	7	18							
2	19.21	0.80	1.50	砂	暗灰	非常に密	凝結土(砂質シルト)よりなる 凝結土(砂質シルト)よりなる 各次取れない	1.75	16	20	14	50							
3	17.71	1.50	3.00	玉石混り砂	暗灰	非常に密	凝結土(砂質シルト)よりなる 凝結土(砂質シルト)よりなる 各次取れない	2.15	6	10	14	34							
4				砂	暗灰	非常に密	凝結土(砂質シルト)よりなる 凝結土(砂質シルト)よりなる 各次取れない	3.44	9	11	14	34							
5				砂	暗灰	非常に密	凝結土(砂質シルト)よりなる 凝結土(砂質シルト)よりなる 各次取れない	4.15	6	10	14	30							
6	14.31	3.40	6.40	砂	暗灰	非常に密	凝結土(砂質シルト)よりなる 凝結土(砂質シルト)よりなる 各次取れない	5.15	6	10	14	30							
7	13.21	1.10	7.50	風化花崗岩	灰	非常に密	凝結土(砂質シルト)よりなる 凝結土(砂質シルト)よりなる 各次取れない	5.65	11	11	29	50							
8				風化花崗岩	灰	非常に密	凝結土(砂質シルト)よりなる 凝結土(砂質シルト)よりなる 各次取れない	6.00	50	50	50	50							
9				花崗岩	暗灰	非常に密	凝結土(砂質シルト)よりなる 凝結土(砂質シルト)よりなる 各次取れない	7.14	50	50	50	50							
10	10.71	2.90	10.00	花崗岩	暗灰	非常に密	凝結土(砂質シルト)よりなる 凝結土(砂質シルト)よりなる 各次取れない	8.00	50	50	50	50							
								9.00	50	50	50	50							
								10.00	50	50	50	50							

※()内数値は、既存浄水場内のRBMを基準とした標準であり、既存施設と整合を図ったものである。

ボーリング柱状図

調査名 男川浄水場更新基本設計業務委託

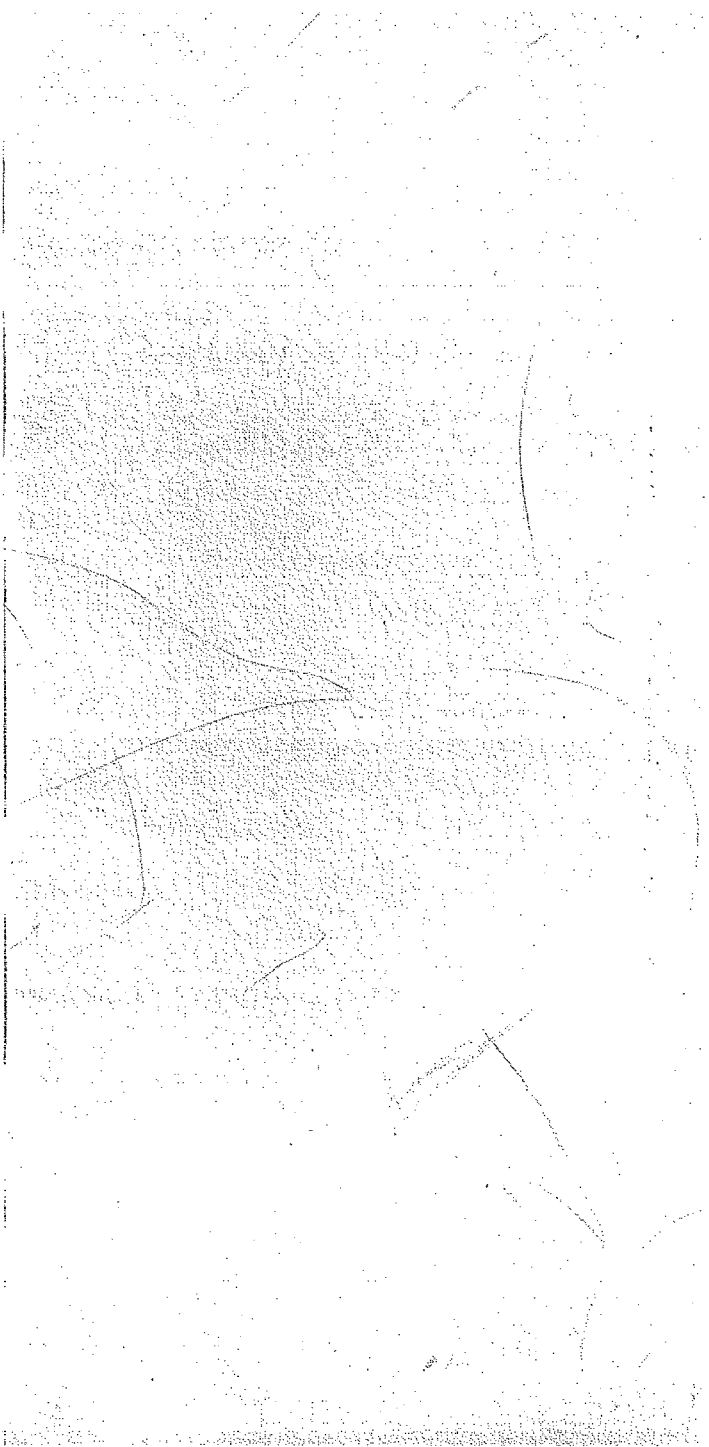
事業・工事名

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ボーリング名	No. 4		調査位置	岡崎市大平町地内		シートNo.														
発注機関	岡崎市水道局		調査期間	平成 22年 10月 25日 ~ 22年 10月 27日		北緯	34°	56'	6.6"											
調査業者名	[Redacted]		調査場所	[Redacted]		東経	137°	11'	19.5"											
孔口標高	H=20.73m (U=20.347m)		主任技師	[Redacted]		ボーリング責任者	[Redacted]													
総掘進長	11.00m		代理人	[Redacted]		ボーリング責任者	[Redacted]													
	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		確定者	[Redacted]													
	地盤勾配	水平0°		使用機種	エンジン		ハンマー 落下用尺	ポンプ		半自動落下装置										
						エンジン	ヤンマーNF D-9			G P-5										

標尺	標高 (m)	層厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 相 対 密 度	相 対 密 度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日		標準貫入試験		原 位 試 験 名	試 験 深 度 (m)	試 料 採 取 方 法	室内試験 (月 日)
									深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	原 位 試 験 名				
20.26	20.26	0.25	0.25	[Symbol]	粘土	暗褐色		原状土 (硬質シルト) 上りなる	10.26	10/26	17	15	10	42	50	10/26
19.83	19.83	0.65	0.90	[Symbol]	砂	黄褐色	密	粒径不均一で細砂主体	11.5	9	13	24	46	30		10/26
19.08	19.08	0.80	1.70	[Symbol]	砂	黄褐色	密	細砂主体 φmax=5.0 φmin=0.075	13.5	15	18	17	60	38		10/26
18.28	18.28	2.25	3.95	[Symbol]	玉石混り砂礫	暗黄褐色	非常に密	礫は、4~5~3.0mm φmax=5.0 玉石混り、L=3~5cmの粗粒状コブ にて認められる。粗砂 よりソックスは、粗砂 全体に分散性があり、透水性が悪い	23	17	18	15	60	27		10/26
16.78	16.78	2.25	6.20	[Symbol]	砂礫	淡褐色と黄褐色	密り中位	礫は、φ=5~3.0mm φmax=7.0 礫の中心に粗粒状砂 が混入し、透水性を有す G=5m~G=7m間、礫層や砂が ない	4.5	17	15	10	42	50		10/26
13.08	13.08	3.75	7.70	[Symbol]	砂礫	灰	密	風化作用を受け、探頭試料は、砂礫 状を呈す	4.6	5	5	7	17	50		10/26
11.73	11.73	1.30	9.00	[Symbol]	風化花崗岩	灰	密		5.45	8	7	10	25	30		10/26
9.73	9.73	2.00	11.00	[Symbol]	花崗岩	灰と暗灰	密	花崗岩や砂を多く含み、探頭コブは 礫層と同一部分があり、探頭 コブは凝結状を呈す	5.45	27	23	3	13	5		10/26
11	9.73	2.00	11.00	[Symbol]	花崗岩	灰と暗灰	密		11.00	50	50	0	50			10/26

※()内数値は、既存浄水場内のRBMを基準とした標高であり、既存施設と整合を図ったものである。



添付資料 4

ボーリング柱状図

期別 調査 名 男 川 原 水 柄 産 産 社 起 業 計 業 務

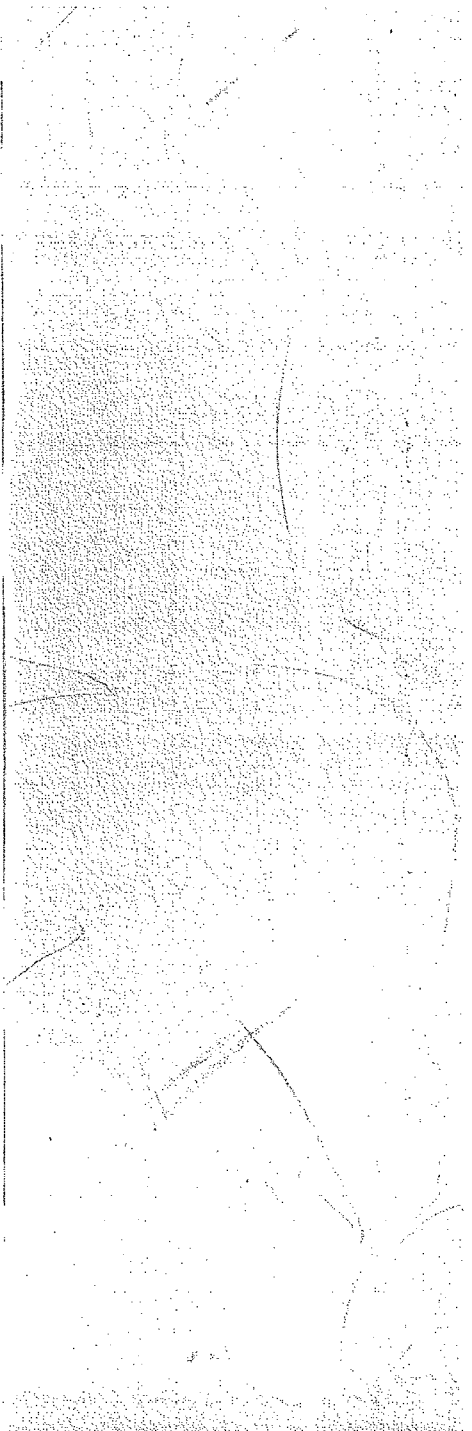
ボーリングNo	27	-	1	2	-	1	2	N	T
---------	----	---	---	---	---	---	---	---	---

調査名称・工事種別名

シートNo

ボーリング名	調査位置	愛知県岡崎市大平町 地内	北緯	34°55'52.8"	
発注機関	岡崎市水道局	調査期間	平成10年12月21日～10年12月22日	東経	137°11'38.4"
調査業者名	主任技師	現場代理人	指定者	ボーリング責任者	
孔口標高	20.58m	試験機	カノー-R-R-100	探取方法	コーンテナーリー法
総掘進長	8.25m	使用機種	エンジン	落下用具	ハンマーポンプ
角	180°	地盤勾配	水平0°	カノー-R-R-100	コーンテナーリー法
上	0°	方位	北0° 東90° 南180° 西180°	ハンマーポンプ	落下用具

掘進 日	室内試験 進	探取 方法	試料 番号	試験 深度 (m)	位置 試験 名 および 結果	原位置 試験 深度 (m)	標準貫入試験			孔内 水位 (m)	記	相 対 密 度	相 対 密 度	土 質 区 分	柱 状 図	厚 度 (m)	間 隔 (m)	標 高 (m)
							10cm の 打撃 回数	打撃 回数 / 貫入 量	貫入 量									
12/22	12	2	2	2.15	2.15	1.15	3	3	3	1.15	超い	超い	超い	超い	0.55	0.55	1.10	8/12
12/21	11	2	1	2.15	2.15	1.15	3	3	3	1.15	超い	超い	超い	超い	0.55	0.55	1.10	8/12
12/21	10	2	1	2.15	2.15	1.15	3	3	3	1.15	超い	超い	超い	超い	0.55	0.55	1.10	8/12
12/21	9	2	1	2.15	2.15	1.15	3	3	3	1.15	超い	超い	超い	超い	0.55	0.55	1.10	8/12
12/21	8	2	1	2.15	2.15	1.15	3	3	3	1.15	超い	超い	超い	超い	0.55	0.55	1.10	8/12
12/21	7	2	1	2.15	2.15	1.15	3	3	3	1.15	超い	超い	超い	超い	0.55	0.55	1.10	8/12
12/21	6	2	1	2.15	2.15	1.15	3	3	3	1.15	超い	超い	超い	超い	0.55	0.55	1.10	8/12
12/21	5	2	1	2.15	2.15	1.15	3	3	3	1.15	超い	超い	超い	超い	0.55	0.55	1.10	8/12
12/21	4	2	1	2.15	2.15	1.15	3	3	3	1.15	超い	超い	超い	超い	0.55	0.55	1.10	8/12
12/21	3	2	1	2.15	2.15	1.15	3	3	3	1.15	超い	超い	超い	超い	0.55	0.55	1.10	8/12
12/21	2	2	1	2.15	2.15	1.15	3	3	3	1.15	超い	超い	超い	超い	0.55	0.55	1.10	8/12
12/21	1	2	1	2.15	2.15	1.15	3	3	3	1.15	超い	超い	超い	超い	0.55	0.55	1.10	8/12



添付資料 4

ボーリング柱状図

刊別 査 名 野 川 原 水 割 掘 池 掘 本 設 計 業 務

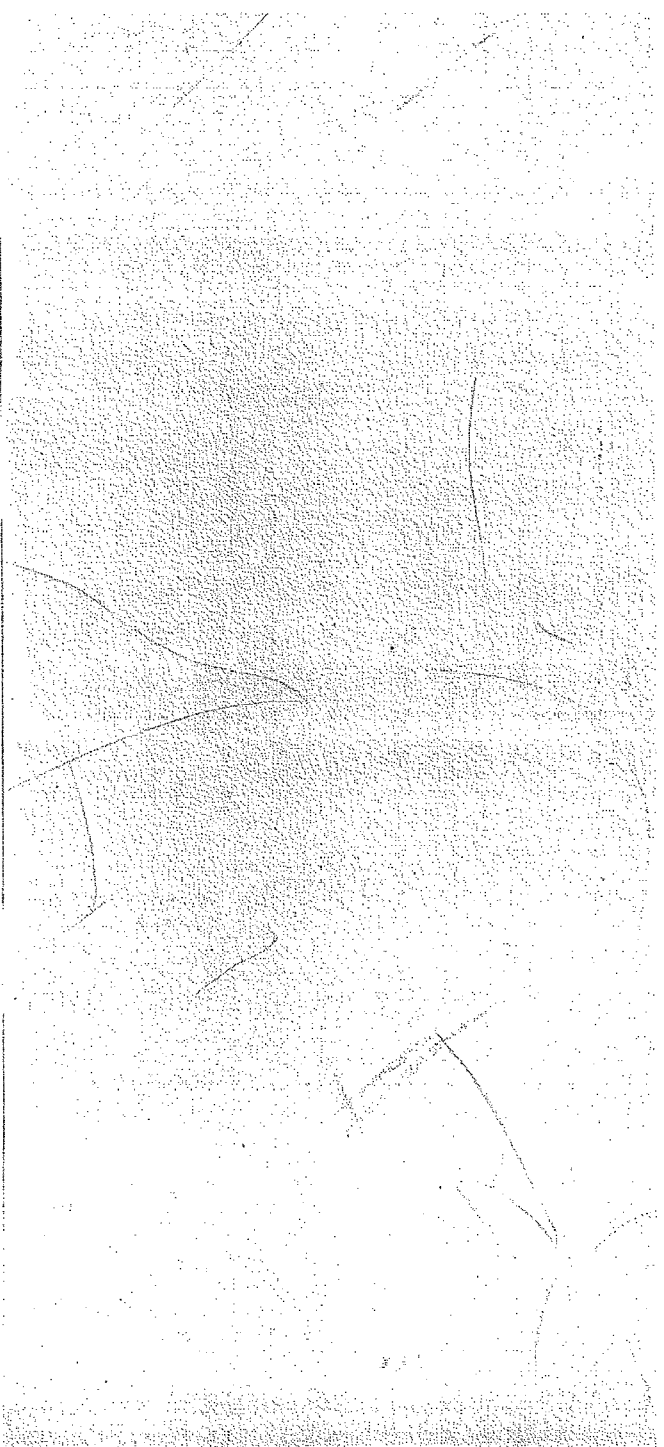
ボーリングNo. 27-12-12NT

調査名称・工事種別名

ボーリング

ボーリング名	N.O. 3	調査位置	愛知県岡崎市大平町 地内	北緯	34° 55' 55.6"
発注機関	岡崎市水道局	調査期間	平成10年12月11日～10年12月14日	東経	137° 11' 38.4"
調査業者名	■■■■■■■■■■	主任技師	■■■■■■■■■■	ボーリング 作業担当者	■■■■■■■■■■
孔口標高	20.50m	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	予定者	■■■■■■■■■■
総掘進長	13.00m	角度	上 180° 下 0° 90°	ハンマー 落下用尺	■■■■■■■■■■
		地盤勾配	水平0° 鉛直90°	コーンテナー カノーナ	■■■■■■■■■■
		使用機種	エンジン	試料採取 方法	■■■■■■■■■■
		代理人	■■■■■■■■■■	室内試験 日	■■■■■■■■■■
		試験機	カノーナ R-100		
		エンジン	ヤンマー NFD-8		

標高 (m)	筒厚 (m)	深さ (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対含水量	記	孔内水位 (m) / 測定日		標準貫入試験		原位置試験 名および結果	試験深さ (m)	試験採取 番号	室内試験 方法	掘進 月日
									10m 打撃回数	この 打撃回数	30 打撃回数	貫入 重 (kg)					
1.3	1.00	13.00	+	花崗岩	黄灰			コアは、L=5~1.0m毎の体積コアにて採取される	2/1 3.00	3/1 3.00	0	1020	3	30			
1.2	3.50	12.00	+	灰	黄灰			コアは、風化が穏しく、砂状を呈する全体時に、φ=5mm程度の未風化砂類が存在する所々、岩質確認できるが脆い所々、粘土分存在	2/1 3.00	3/1 3.00	1	11	3	30			
1.1				砂礫	黄灰			細い砂礫、φ=2~3.0mm (max) = 5.0mm 程度の粗砂~亜砂状主体。また、φ=1.0~2.50mm程度の玉白磁石	2/1 3.00	3/1 3.00	1	11	3	30			
1.0				細砂	黄灰			細い砂礫、φ=2~3.0mm (max) = 5.0mm 程度の粗砂~亜砂状主体。また、φ=1.0~2.50mm程度の玉白磁石	2/1 3.00	3/1 3.00	1	11	3	30			
0.9				細砂	黄灰			細い砂礫、φ=2~3.0mm (max) = 5.0mm 程度の粗砂~亜砂状主体。また、φ=1.0~2.50mm程度の玉白磁石	2/1 3.00	3/1 3.00	1	11	3	30			
0.8				細砂	黄灰			細い砂礫、φ=2~3.0mm (max) = 5.0mm 程度の粗砂~亜砂状主体。また、φ=1.0~2.50mm程度の玉白磁石	2/1 3.00	3/1 3.00	1	11	3	30			
0.7				細砂	黄灰			細い砂礫、φ=2~3.0mm (max) = 5.0mm 程度の粗砂~亜砂状主体。また、φ=1.0~2.50mm程度の玉白磁石	2/1 3.00	3/1 3.00	1	11	3	30			
0.6				細砂	黄灰			細い砂礫、φ=2~3.0mm (max) = 5.0mm 程度の粗砂~亜砂状主体。また、φ=1.0~2.50mm程度の玉白磁石	2/1 3.00	3/1 3.00	1	11	3	30			
0.5				細砂	黄灰			細い砂礫、φ=2~3.0mm (max) = 5.0mm 程度の粗砂~亜砂状主体。また、φ=1.0~2.50mm程度の玉白磁石	2/1 3.00	3/1 3.00	1	11	3	30			
0.4				細砂	黄灰			細い砂礫、φ=2~3.0mm (max) = 5.0mm 程度の粗砂~亜砂状主体。また、φ=1.0~2.50mm程度の玉白磁石	2/1 3.00	3/1 3.00	1	11	3	30			
0.3				細砂	黄灰			細い砂礫、φ=2~3.0mm (max) = 5.0mm 程度の粗砂~亜砂状主体。また、φ=1.0~2.50mm程度の玉白磁石	2/1 3.00	3/1 3.00	1	11	3	30			
0.2				細砂	黄灰			細い砂礫、φ=2~3.0mm (max) = 5.0mm 程度の粗砂~亜砂状主体。また、φ=1.0~2.50mm程度の玉白磁石	2/1 3.00	3/1 3.00	1	11	3	30			
0.1				細砂	黄灰			細い砂礫、φ=2~3.0mm (max) = 5.0mm 程度の粗砂~亜砂状主体。また、φ=1.0~2.50mm程度の玉白磁石	2/1 3.00	3/1 3.00	1	11	3	30			
0.0				細砂	黄灰			細い砂礫、φ=2~3.0mm (max) = 5.0mm 程度の粗砂~亜砂状主体。また、φ=1.0~2.50mm程度の玉白磁石	2/1 3.00	3/1 3.00	1	11	3	30			



添付資料 4

ボーリング柱状図

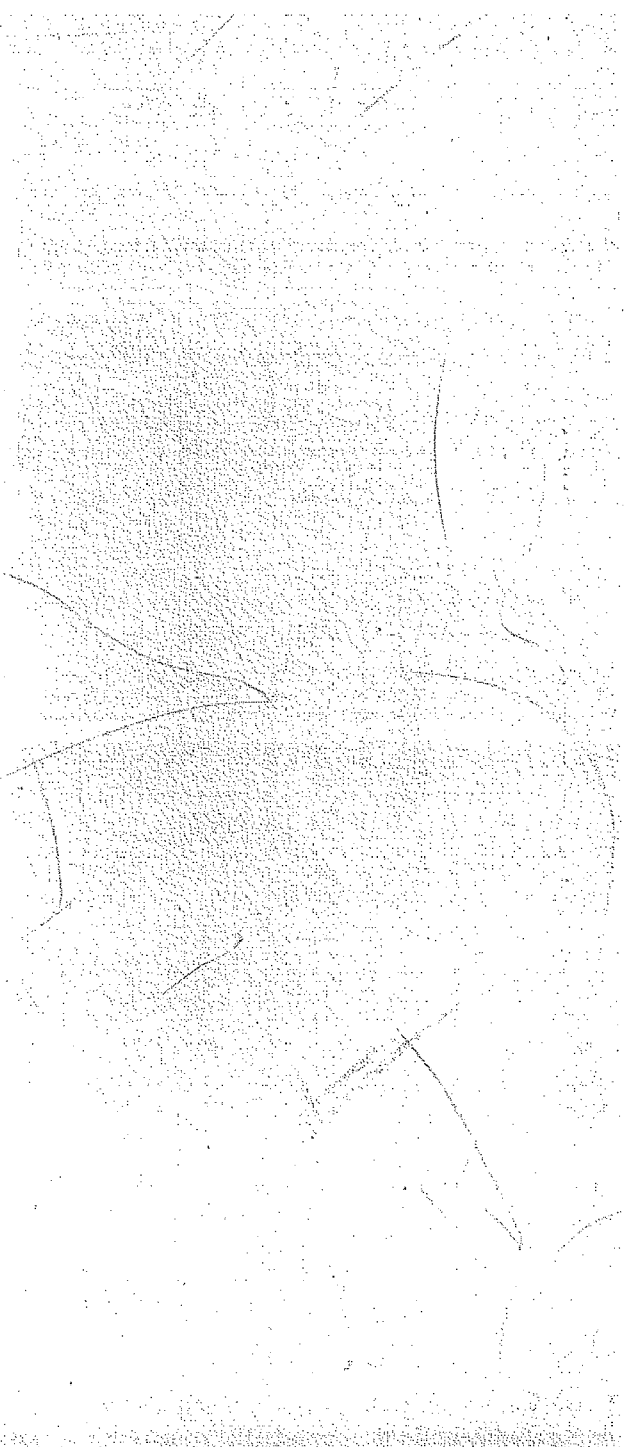
調査 名称 男 川 原 水 掘 掘 池 基 本 設 計 業 務

調査・二層調査

ボーリングNo. 27-12-12NT

ボーリング名	N.O. 4		調査位置	愛知県岡崎市大平町 地内	北緯	34°55'59.1"
発注機関	岡崎市水道局		調査期間	平成10年12月 8日～	東経	137°11'37.3"
調査者名	[Redacted]		現 場 人	[Redacted]	ボーリング	[Redacted]
主任技師	[Redacted]		代理人	カノアーケーター	コ定者	[Redacted]
ボーリング	[Redacted]		試験機	ヤンマーNFD-8	ハンマー	ハンマー
ボーリング	[Redacted]		使用機	エンジン	落下用具	ハンマー
ボーリング	[Redacted]		角	上 90° 下 0°	ボンプ	カノアーケーター
ボーリング	[Redacted]		方	北 0° 東 90° 西 180° 南 180°	ボンプ	カノアーケーター
ボーリング	[Redacted]		地盤勾配	水平0°		
ボーリング	[Redacted]		約置	30		
ボーリング	[Redacted]		総掘進長	9.00m		

標尺	標高 (m)	層厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	包 封 密 度	相 封 密 度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日		標準貫入試験		原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	試験採取方法	室内試験 進 日
									10cmごとの 打撃回数	10cmごとの 貫入量 (cm)	深 度 (m)	値				
9	12.5	1.0	8.70	花崗岩	花崗岩			コアは、風化作用著しく、形状を呈する。全体的に、φ=5mm以下の未風化礫所々、柱状の混在。	12/8	12/8	12/8	12/8	12/8	12/8	12/8	12/8
8	12.3	0.38	9.00	花崗岩	花崗岩				12/8	12/8	12/8	12/8	12/8	12/8	12/8	12/8
7																
6																
5																
4																
3																
2																
1																
0																



添付資料 4

ボーリング柱状図

取調 査 名 男 川 原 水 掘 鑿 社 基 本 設 計 業 務

取調 業 務 名 取調 業 務

ボーリングNo. 27-112-112

ボーリング名	N.O. 5		調査位置	豊 知 県 岡 崎 市 大 平 町 地 内	北 緯 34°55'53.5"
発注機関	岡 崎 市 水 道 局		調査期間	平成10年12月10日~10年12月11日	東 経 137°11'31.0"
調査業者名	[Redacted]		現 場 代 理 人	[Redacted]	ボーリング 責任者 [Redacted]
孔口標高	210.6	角 度	方 向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	ハンマー 落下用尺
総掘進長	9.90	上 下 0°	地 盤 勾 配	水 平 0°	ボンプ
			使用機 種	エンジン	カンノーバー

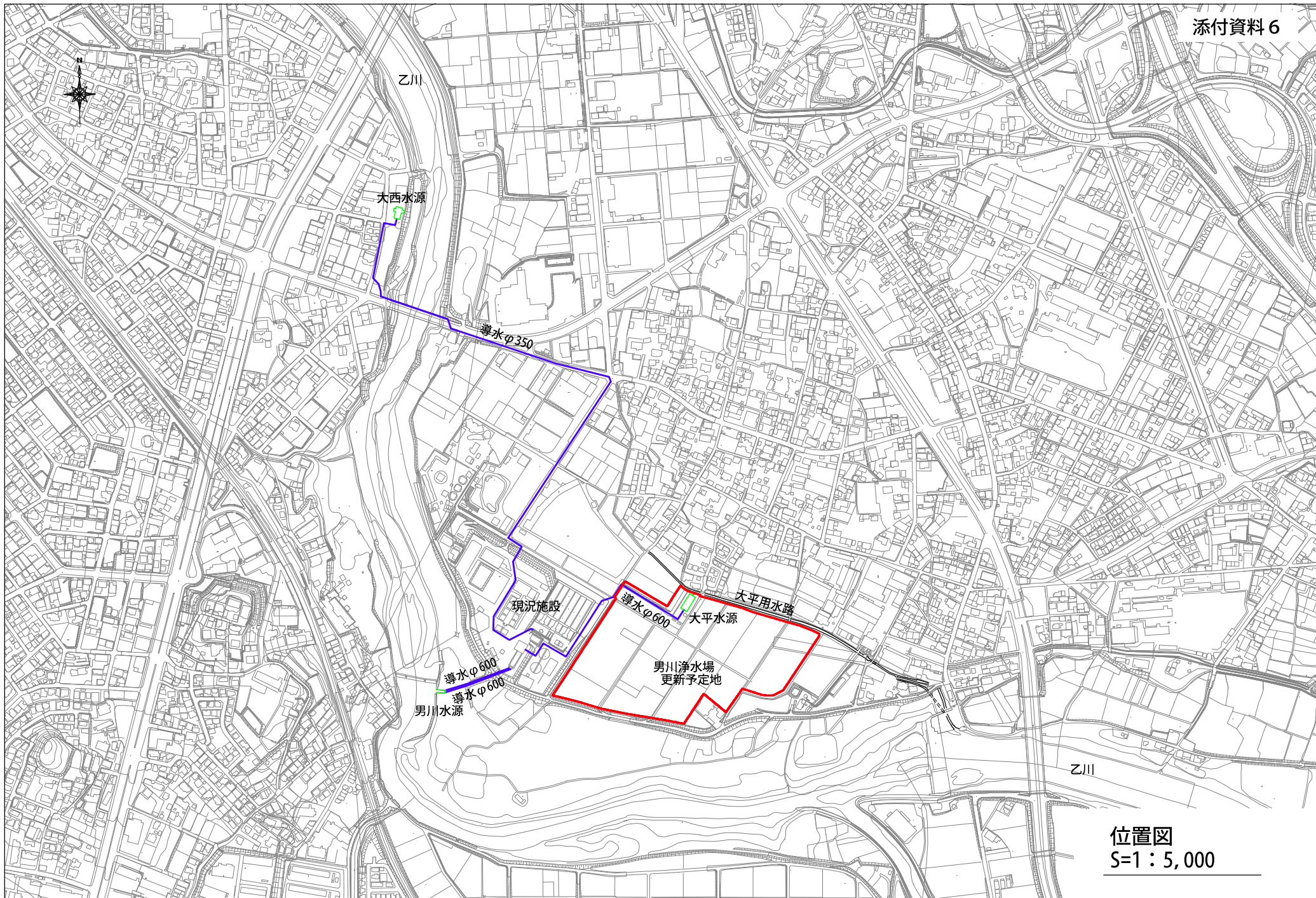
標 尺	標 高 (m)	厚 度 (m)	柱 状 図	土 質 分 区	色 相 対 密 度	相 対 密 度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日		標準貫入試験		原 位 試 験 名	試 験 結 果	深 度 (m)	試 料 探 取 方 法	探 取 番 号	日 月
								100cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値	度						
1	19.06	1.35	砂	砂	暗 灰 色	非常 に 密 な	ソルト膨張試験 砂にソルト混在 薬液注入	12/11	3.20	11	30	N					11
2									2.15	9	60						12
3									1.45	1	11						12
4									2.29	10	60						12
5									4.15	24	62						12
6									4.37	17	22						12
7									5.15	14	44						12
8									5.35	8	28						12
9									6.15	10	30						12
10									6.35	10	28						12
11									7.39	30	74						12
12									8.15	9	29						12
13									9.15	11	25						12
14									9.45	10	25						12
15									9.70	11	25						12

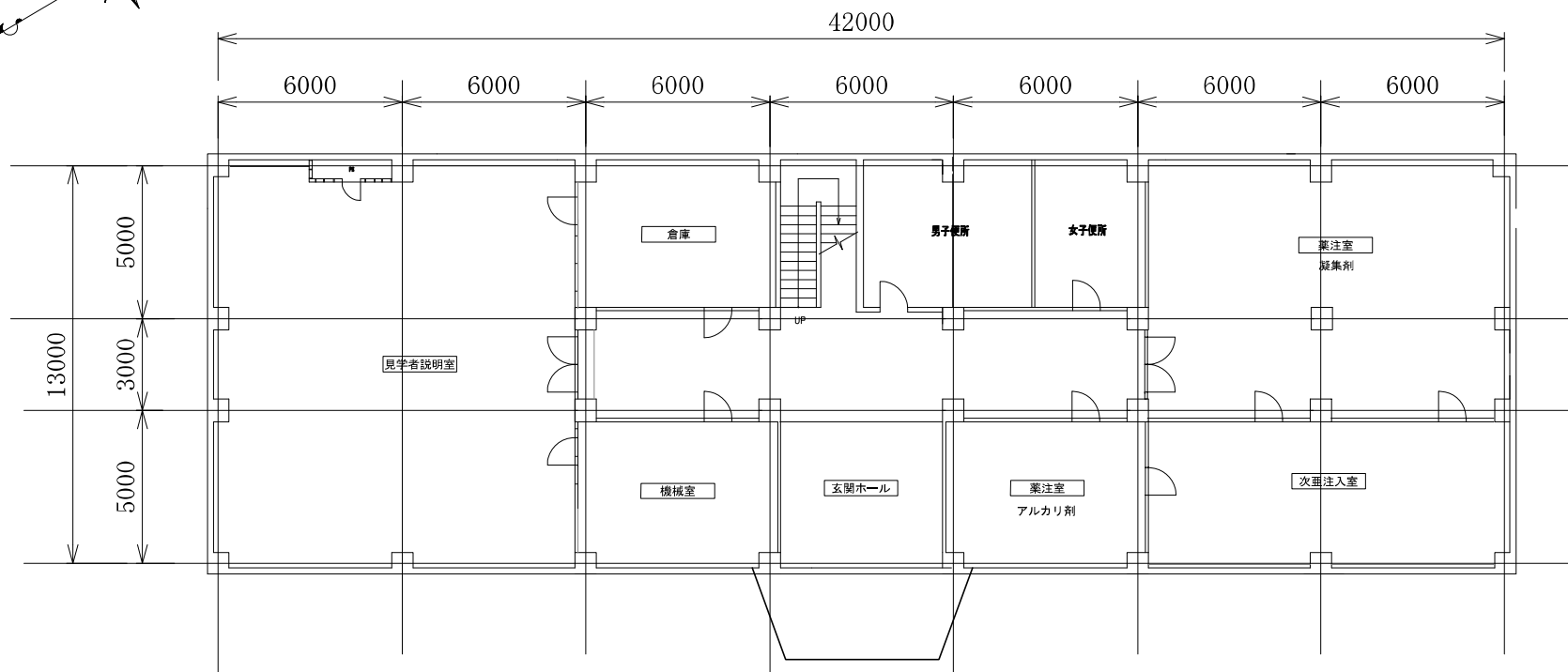
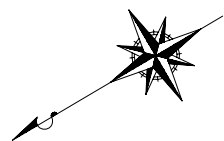
添付資料5

男川浄水場負荷集計表

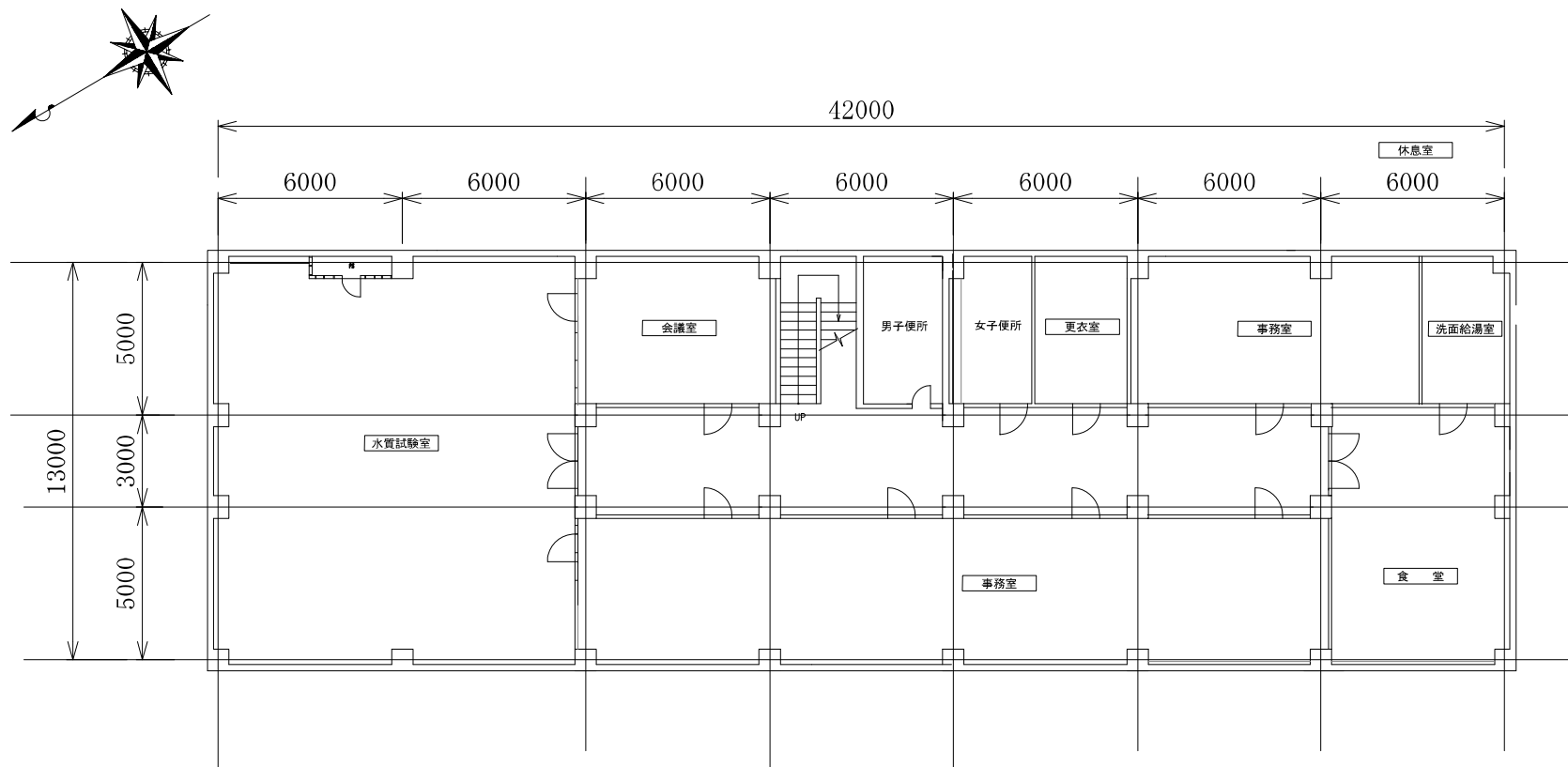
設備名称	電圧	単機容量	買電対象負荷								自家発電対象負荷 (暫定)		備 考
			暫定				将来						
			常用		予備		常用		予備				
			台数	容量	台数	容量	台数	容量	台数	容量	台数	容量	
送水ポンプ(大西・根石)	3.3K	132	5	660	1	132	3	396	1	132	5	528.0	0.8
送水ポンプ(根石)	3.3K						2	180	1	90	2		0.8
送水ポンプ(男川→本宿)	3.3K	200	1	200	1	200					1	160.0	0.8
送水ポンプ(男川→美合)	3.3K						1	280	1	280	1		0.8
導水ポンプ	3.3K	90	3	270	1	90	3	270	1	90	1	270.0	1.0
生物処理空洗ポンプ			1	49.4							1	34.6	0.7
沈殿池引抜ポンプ													
動力付属盤	210			11.95								6.0	0.5
緩速攪拌機主幹盤	210	0.75	4	3			4	3				2.4	0.8
緩速攪拌機盤	210	21.15	4	84.6								42.3	0.5
採水ポンプ盤	210	0.4	2	0.8								0.24	0.3
動力低圧盤	210			35.15								17.6	0.5
ろ過池操作盤	210			20								4.0	0.2
クラリファイヤー制御盤	210			15.4								4.6	0.3
薬品注入機盤	210			6.26								3.1	0.5
送水ポンプ操作盤	210			4.95								1.5	0.3
空気圧縮機盤	210	7.5	1	7.5								3.8	0.5
除塵機盤	210			6.75								3.4	0.5
ブロック形成池盤	210			105.75								42.3	0.4
その他	210			176.45								70.6	0.4
整流器盤	210			10								4.0	0.4
電灯主幹盤	105			30								9.0	0.3
照明用低圧盤	105			75								22.5	0.3
排水池返送ポンプ	210		2	44	1	22						22.0	0.5
排泥池引抜ポンプ他	210		1	2.2	1	2.2						1.1	0.5
濃縮槽引抜ポンプ等	210		1	3.7	1	3.7						1.9	0.5
脱水施設	210							66.2				33.1	0.5
計												1287.9	

注：①上記は、当面更新するポンプ設備容量として暫定負荷を対象としている。
 ②上記のうち送水ポンプ、導水ポンプ設備以外は、既設設備の負荷を使用している。

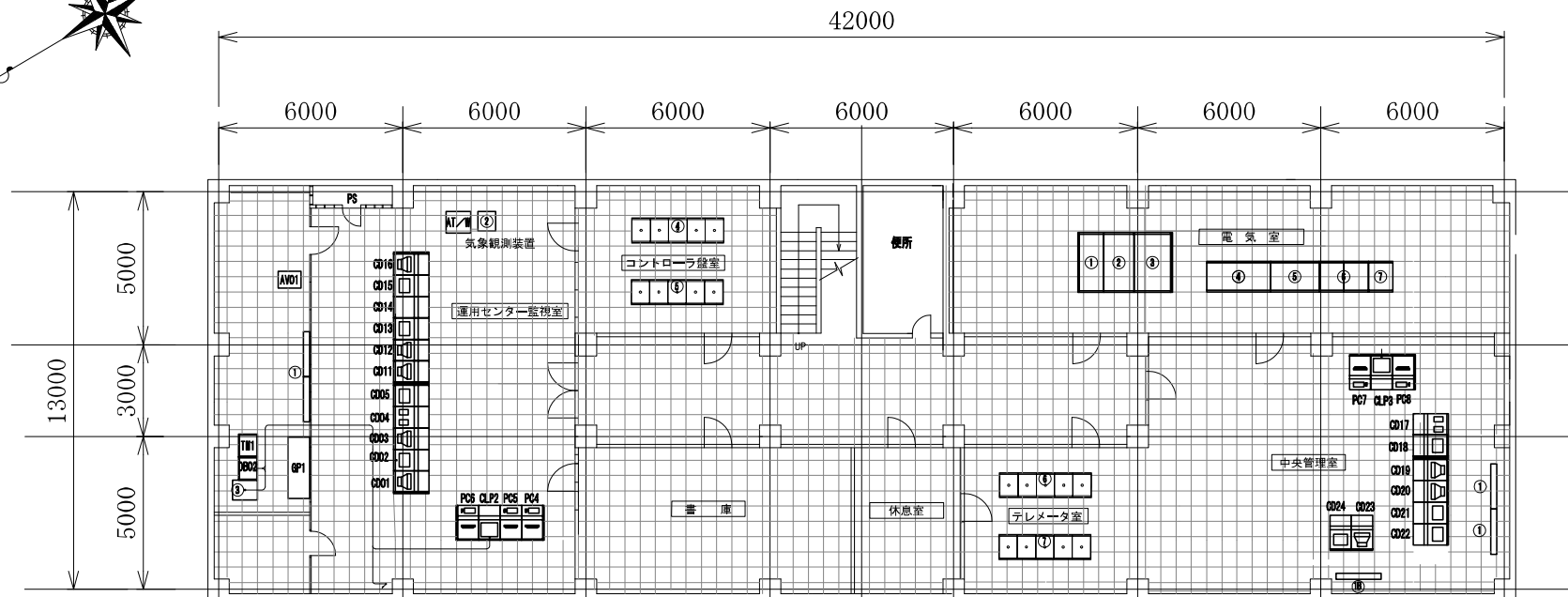
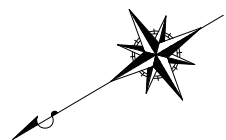




1F平面図



2F平面図



3F平面図

図 NO.	図 名 称	備 考
C001	データサーバ	
C002	データサーバ用BP	
C003	水運用ワークステーション	
C004	FD/MD台	
C005	水運用PC用BP	
C011	CRT1	
C012	CRT2	
C013	大型スクリーン操作卓1	
C014	大型スクリーン操作卓2	
C015	カラーハードコピー	
C016	CRT3	
AT/②	漢字プリンタ	
①	大窓スクリーン	
GP1	地図盤	
AV01	AVコントローラ	
TM1	地図盤コントローラ	
DB02	分電盤	
①	気象観測装置	
PC1	情報処理パソコン	
PC2	情報処理パソコン	
PC3	非常通報用サーバ	
PC4	気象情報入力用パソコン	
PC5	雨量量予測用パソコン	
PC6	雨量量予測用パソコン	
CLP1	カラープリンター	
CLP2	カラープリンター	
①	ルータ装置	

図 NO.	図 名 称	備 考
中央管理室		
C017	FD/MD台	
C018	ラインプリンタ	
C019	CRT1	
C020	CRT2	
C021	大型スクリーン操作卓1	
C022	大型スクリーン操作卓2	
C023	ITV操作卓1	
C024	ITV操作卓2	
PC7	情報処理パソコン1	
PC8	情報処理パソコン2	
CLP3	カラープリンター	
①	大型スクリーン	
②	ITV用スクリーン	
③	テレメータ盤1	
④	テレメータ盤2	
⑤	テレメータ盤3	
⑥	テレメータ盤4	
電気室		
①	引込受電盤	
②	主変圧器盤	
③	切換盤	
④	蓄電池盤	
⑤	直流電源装置	
⑥	ONP	
⑦	切換盤	

添付資料 8 必要諸室の仕様及び備品

項目	名称	室面積 (㎡)	人数	使用目的	その他特記事項 ※ロッカーの長さ、人数は目安を示す。
操作管理域	中央管理室	126	6人	・各施設の監視業務	・計装機器を収容する十分なスペース ・ケーブルが集中するための対策(フリーアクセス) ・機器の搬入搬出口
	上水運用センター(将来設置予定)	186	7人	・岡崎市内の配水コントロール	・免震床、機器の発熱対策
	電子計算機室	126			・計装機器を収容する十分なスペース ・ケーブルが集中するための対策(フリーアクセス) ・機器の搬入搬出口
水質管理域	水質計器室(将来設置予定)	156	5人	・水質検査に関する計器設置	
	水質試験室(将来設置予定)			・水質検査	・床は防水耐薬品仕様とすること ・床洗浄を行うことがあるため、水勾配の確保
事務管理域	事務室	165	13人	・浄水課の執務スペース	・事務机、椅子(13個)既設使用品同等以上とする ・書類保管用ロッカー(6m) ・6人用打合せスペース(職員用)
	会議室	30		・各種会議	・長机(10個)、パイプ椅子(30個)
	見学者説明室	156		・見学者説明	・長机(35個)、パイプ椅子(100個)、50インチ大型モニター(1台)
電気・機械管理室	電気室	90			・二酸化炭素による消火を行えるよう、完全な締切ができるようにすること。 ・適切な湿度が保てるよう、十分な空調設備を設置すること。
	自家発電室	別棟			
	空調室(機械室)	30			
	ポンプ室	別棟			
薬注管理室	次亜塩素酸ナトリウム貯蔵室	60		・薬品貯蔵	・床は防水耐薬品仕様 ・床洗浄を行うことがあるため、水勾配の確保 ・薬品保管棚は耐薬品、地震等考慮し木製造りつけ等とする。 ・台車による搬入・搬出が可能な出入り口とする。 ・出入り口は施錠可能とすること
	ポリ塩化アルミニウム貯蔵室	96		・同上	・同上
	苛性ソーダ貯蔵室	30		・同上	・同上
保安全管理室	書庫・倉庫	75		・浄水課の資料保管	・移動式書棚(25m) ・施錠できること
厚生域	休憩室	15		・職員休憩用	・和室とし、押入れを設置すること ・寝具(4セット) ・テレビ(1台) ・ローテーブル(1個)
	食堂	48			・テーブル(1個)、椅子(6個)
	給湯室	15			・給湯器(1台)、ガスコンロ(1台)、造りつけ収納を設置すること。
	洗面室				・洗面台(1台)
	便所	90			・男子用は大便秘器(2個)、小便器(3個)、流し(2個) ・女子用は大便秘器(3個)、流し(2個) ・人感センサー設置 ・各フロアに男子用、女子用を設置すること
	更衣室	15			・更衣室用ロッカー(31個)
その他	玄関ホール	30			・下駄箱(100個)スリッパ(100個)
	廊下	180			・消火器を設置すること
	階段室	45			
計		1638	31人		